

E P • U S P C T

国際調査報告

(法 8 条、法施行規則第40、41条)
〔P C T 1 8 条、P C T 規則43、44〕

出願人又は代理人 の書類記号 PF99E880	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(P C T / I S A / 2 2 0) 及び下記 5 を参照すること。		
国際出願番号 P C T / J P 0 1 / 0 0 3 1 8	国際出願日 (日.月.年) 18.01.01	優先日 (日.月.年) 19.01.00	
出願人 (氏名又は名称) 株式会社瓶屋			

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条 (P C T 1 8 条) の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 2 ページである。

☐ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。

☐ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。

b. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際調査を行った。

☐ この国際出願に含まれる書面による配列表

☐ この国際出願と共に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出された書面による配列表

☐ 出願後に、この国際調査機関に提出されたフレキシブルディスクによる配列表

☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

☐ 書面による配列表に記載した配列とフレキシブルディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

2. ☐ 請求の範囲の一部の調査ができない (第 I 欄参照)。

3. ☐ 発明の単一性が欠如している (第 II 欄参照)。

4. 発明の名称は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は ☒ 出願人が提出したものを承認する。

☐ 第 III 欄に示されているように、法施行規則第47条 (P C T 規則38.2(b)) の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から 1 カ月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 要約書とともに公表される図は、

第 2 図とする。 ☒ 出願人が示したとおりである。

☐ なし

☐ 出願人は図を示さなかった。

☐ 本図は発明の特徴を一層よく表している。

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ G06F17/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1926-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2001年
日本国実用新案登録公報	1996-2001年
日本国登録実用新案公報	1994-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)
Dialindex (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	US, 5754981, A (The Gift Certificate Center, Inc.) 19. 5月. 1998 (19. 05. 98)	1-25
Y	'Making a list and checking it twice'. Link-Up [online], 1999 [retrieved on 2001-04-06]. Retrieved from the Internet: <URL: http://www.findarticles.com/cf_0/m3337/6_16/57764608/ print.jhtml>.	1-25
Y	JP, 11-175617, A (株式会社リクルート) 2. 7月. 1999 (02. 07. 99) (ファミリーなし)	8-15, 17-24

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

09. 04. 01

国際調査報告の発送日

24. 04. 01

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

岩間 直純



5L

9287

電話番号 03-3581-1101 内線 3561



(43) 國際公開日
2001 年 7 月 26 日 (26.07.2001)

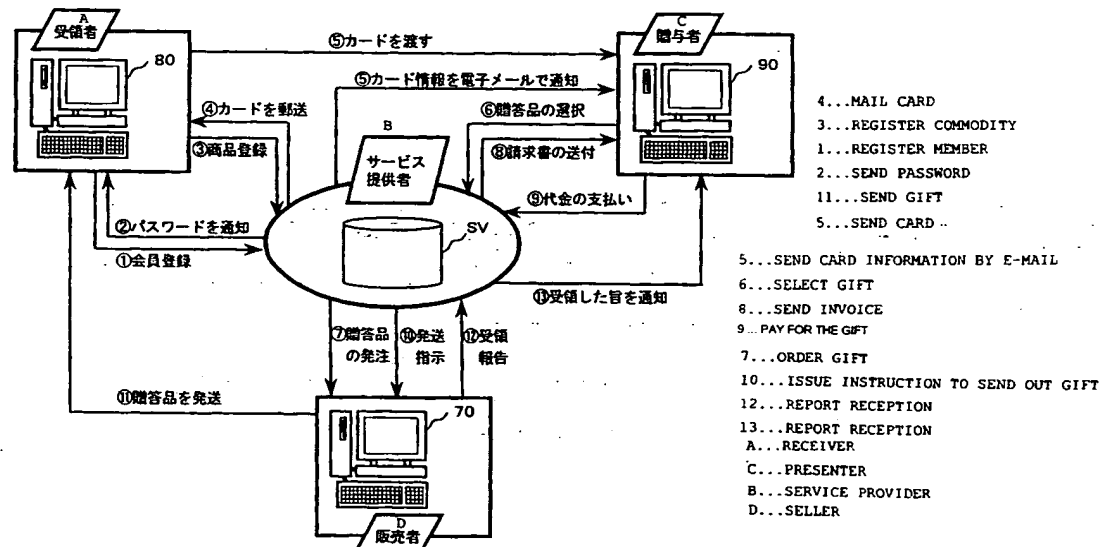
PCT

(10) 国際公開番号
WO 01/54012 A1

- (51) 国際特許分類: G06F 17/60 (72) 発明者; および
(21) 国際出願番号: PCT/JP01/00318 (73) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 大嶋一郎 (OSHIMA, Ichiro) [JP/JP]; 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目1番6号 Aichi (JP).
(22) 国際出願日: 2001 年1 月18 日 (18.01.2001) (74) 代理人: 五十嵐孝雄, 外 (IGARASHI, Takao et al.); 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目18番19号 三井住友銀行名古屋ビル7階 Aichi (JP).
(25) 国際出願の言語: 日本語 (81) 指定国 (国内): US.
(26) 国際公開の言語: 日本語 (84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR).
(30) 優先権データ:
特願2000-10812 2000 年1 月19 日 (19.01.2000) JP
特願2000-156927 2000 年5 月26 日 (26.05.2000) JP
(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 株式会社 瓶屋 (KAMEYA CO., LTD.) [JP/JP]; 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄二丁目1番6号 Aichi (JP).
添付公開書類:
— 国際調査報告書
2 文字コード及び他の略語については、定期発行される各 PCT ガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: GIFT INTERMEDIATING SYSTEM AND METHOD THEREFOR

(54) 発明の名称: 贈与仲介システムおよびその方法



(57) Abstract: Generally, a gift such as a wedding gift hardly reflects the desire of a receiver of the gift. There has been conventionally no gift system through which the desire of the receiver of a gift matches with the intention of the presenter. According to the invention, the system has a server (SV) including a storage unit (34) where data concerning gift is stored; the receiver connects a first terminal (80) to the server (SV), conducts registration, selects a commodity as a gift that the receiver expects to receive, and registers it; a password for allowing an access to the Web site where merchandise is registered is distributed to prospective presenters; a presenter connects a second terminal (90) to the server (SV) by means of the password, specifies a commodity that the presenter wants to present the commodity, and applies to present it; and the server (SV) sends, upon receiving the application, a form for payment. Since the receiver is registered and a password for presenter is made, a desired commodity is presented safely and reliably through a network.



(57) 要約:

結婚祝いなどを受ける場合、贈答を受ける人の希望が反映されにくい。贈答における受け取り人の希望と贈与人の意図とを整合する贈答システムは提案されていない。そこで、贈与に関するデータを蓄積する記憶装置 34 を有するサーバ S V を設け、贈り物を受ける者が、第 1 の端末 80 からサーバ S V に接続し、予め登録を済ませた後、贈与を期待する商品を選択しこれを、登録しておく。その後、商品を登録したサイトにアクセスを許可するパスワードなどを、贈与してくれそうな者に配付する。贈与人は、このパスワードを用いて第 2 の端末 90 からサーバ S V に接続し、贈与しようとする商品を指定し、贈与を申し込む。サーバ S V は、この申し込みを受けて送金の用紙などを送る。本人登録と贈与人用のパスワードを設けることにより、ネットワークを介して安全・確実に、希望する商品の贈与を受けることができる。

明細書

贈与仲介システムおよびその方法

5 技術分野

本発明は、贈与仲介システムおよびその方法に関し、詳しくはサーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスを行ない、該ネットワークを介して行なわれる贈与を仲介する技術に関する。

10

背景技術

近年、ネットワークを用いた情報提供技術の発展に伴い、ネットワーク上で商品を特定して、これを特定の個人などに贈呈するシステムが実用化されている。こうしたシステムは、インターネットなどのネットワーク上にIPアドレスなどによって特定されるサーバを用意し、ここに贈呈、贈与しようとする商品のデータを蓄積している。商品を他人に贈呈、贈与使用とするものは、このサーバが存在するサイトにアクセスし、サーバに蓄積されたデータに基づいて商品を特定する。その上で、商品の代金を、銀行振り込みやクレジットカード決済により支払うと共に、商品の送付先をサーバ上の特定の領域に書き込む。

20

このサイトを運用する主体は、代金の決済を確認してから、指定された商品を書き込まれた送付先に送る。これで、所望の商品が特定の相手に贈呈されることになる。かかるシステムは、歳暮、中元などの季節の贈り物や、誕生日、結婚、出産、進学、就職などのお祝い、あるいはこれらの慶事のお返し（いわゆる内祝）、更には忌明けのお返しなどに、用いられている。

25

しかしながら、ネットワークを介したこうした贈呈、贈与のシステムは、送り主が一方的に商品を送るだけであり、贈呈、贈与を受ける人の希望などは、予め本人が聞いておかない限り、反映することはできなかった。贈呈、贈与を行なう際、相手の希望商品を聞くことは、必ずしも一般的には行なわれておらず、贈り主としては、何を贈ったらよいか、迷うことは少なくない。また、結婚などで多数の親戚、友人などから贈り物を受ける場合、商品が重複したり、自分たちの生活には必要のないものを贈られて、困惑するということが現実には少なくない。

10

こうした問題は、いわば社会的習慣の問題でもあるが、例えば贈り主が相手に贈呈を受けたいものを尋ねることが社会的に許容されるようになったとしても、本人が求めているものの価格が、贈り主が予定していた贈与の範囲を越えていることもあり得、社会的習慣の変更だけでは解決することができない。

15 多人数が一人または一組にバラバラに贈り物を贈る際の様々な問題を解決する技術的インフラストラクチャは、未だ提案されていない。

一般に、贈呈、贈与すべき商品は、贈り物をすべき理由（結婚、出産等）だけで客観的に定まるものではなく、贈り物を受ける人や贈り主の個性や、贈り物を受ける人と贈り主との関係（例えば、儀礼的關係か否か、濃厚な関係か否か）等の主観的要素が複雑に絡み合って決定される。従って、ネットワークを介した贈呈、贈与のシステムの実用性を最大限に高めるには、現在または将来の人々の嗜好や商品傾向を広く加味し、贈与すべき商品を、一般市場に流通している商品群とほぼ同等のバリエーションで準備する必要がある。しかしながら、市場流通品の全てを贈答品としてラインナップすることは、多数の取引口

20

25

座の新規開設が必要となり、商品の仕入れや管理も極めて煩雑となることから、現実には困難であった。

- 本発明の贈与仲介装置およびその方法は、こうした問題を解決し、特に複数
- 5 人が特定の相手に贈呈、贈与を行なう際の利便なシステムを提供することを目的とする。

発明の開示

- 10 上記課題の少なくとも一部を解決する本発明の贈与仲介システムは、サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスを行ない、該ネットワークを介して行なわれる贈与を仲介する贈与仲介システムであって、

- 贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と
- 15 共に予め登録する第1の記憶手段と、

贈与を行なう者をネットワーク上で認識可能なパスワードを記憶する第2の記憶手段と、

- 前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記第1の記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が
- 20 認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可する許可手段と、

該許可を受けたアクセスにより、前記データ蓄積手段に、贈与を受けようとする一以上の商品を登録する商品登録手段と、

- 該登録した商品を、前記第2の記憶手段に記憶されたパスワードを用いた前
- 25 記ネットワークを介したアクセスに対して参照可能とする商品参照手段と

を備えたことを要旨としている。

また、この贈与仲介システムに対応した贈与仲介方法の発明は、

サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスして行なわれる贈与を仲介する贈与仲介方法であって、

5 贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に、前記サーバの所定の記憶手段に予め登録し、

贈与を行なう者をネットワーク上で認識可能なパスワードを、前記サーバの記憶手段に記憶し、

10 前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可し、

該許可を受けたアクセスにより、前記データ蓄積手段に、贈与を受けようとする一以上の商品を登録し、

該登録した商品を、前記記憶手段に記憶されたパスワードを用いた前記ネットワークを介したアクセスに対して参照可能とすること

を要旨としている。

20 かかる贈与仲介の手法によれば、贈与を受けようとするものは、ネットワークを介してデータ蓄積手段にアクセスする際、予め登録した個人情報との対応が確認されてから、データ蓄積手段へのアクセスが許可される。アクセスの許可を受けたものは、データ蓄積手段に、贈与を受けようとする一以上の商品を登録する。一以上の商品の登録をするためには、個人情報との対応の認定が必要となるから、いたずらなどで、データ蓄積手段に、商品が登録されることが

25

ない。一方、贈与しようとする者は、予め登録したパスワードを用いることで、ネットワークを介して、登録された商品を参照することができる。従って、贈与を行なおうとする者だけが、登録された商品を参照することができ、贈与を受けようとするものが望んでいる商品を的確に贈呈することができる。登録された商品を参照するのに、パスワードが必要となることから、無関係なものに、
5 プライバシーを公開することがない。

上記の贈与仲介システムおよびその方法には、様々な展開を考えることができる。以下、仲介装置を例にとって説明するが、仲介方法としても、ほぼ同様の展開が可能である。
10

上記の贈与仲介システムにおいて、個人情報を記憶する第1の記憶手段は、2以上の者についての前記情報を、単一の個人情報と共に記憶する手段とすることができる。結婚などの場合には、一組のカップルが贈与を受けることになるので、贈与を受ける者の個人情報は単一とし、この個人情報と共に、カップルを構成する2以上の者についての情報を記憶しておくことが、簡便である。
15

また、本発明の贈与仲介システムにおいて、贈与を受けるイベントの種類、例えば結婚、出産、誕生日、進学などを登録する手段と、該登録されたイベントの種類が、婚約、結婚など複数人に関与するイベントとして予め登録されたものに該当する場合には、該複数人についての前記情報を、単一の前記個人情報と共に記憶する手段とを備えるものとすることができる。全てのイベントが複数人に関与する訳ではないので、予め登録したイベントに限って、複数人の情報の登録を可能とした方が、登録する情報の誤りなどが生じにくいからである。
20

更に、前記贈与を行なう者のアドレスを登録するアドレス登録手段と、前記商品登録手段による登録の終了後に、前記アドレス登録手段に登録されたアドレスに、前記パスワードを含む前記データ蓄積手段へのアクセス方法に関する情報を通知する通知手段とを備えることも可能である。こうすれば、商品を登録した後、贈与を行なおうとしている者のアドレス（住所、Eメールアドレス等）に、パスワードを含むアクセス方法に関する情報を通知できるので、贈与を受けようとする者が、いちいち相手に連絡する手間や、贈与を行なおうとする者が、いちいち本人にアクセス方法を尋ねるといった手間を省くことができる。

10

本発明の贈与仲介システムでは、商品の登録を次の構成で対応することができる。すなわち、複数の商品に関する情報を個別に予め記憶した商品情報記憶手段を設け、この商品情報記憶手段に記憶された複数の商品のうちの一以上を特定するものとし、こうして特定された一以上の商品を、一覽的に画面表示する手段を設けるのである。こうすれば、商品を登録しようとする者は、商品情報記憶手段に記憶された複数の商品から商品を特定したとき、これを一覽的に参照することができ、どのような商品を特定したか容易に把握することができる。ここで「一覽的」としたのは、全ての商品が完全な一覽表として表示される必要はなく、商品のカテゴリや値段別に、一覽表として表示されても良いし、表示画面や印刷用紙の大きさによっては複数の画面や印刷用紙に分かれて表示されても良いからである。もとより、一画面、一印刷用紙に入りきらないときには、文字の大きさなどを自動的に調整して、完全な一覽表として表示することも差し支えない。一覽的な表示は、モニタなどの画面上に行なっても良いし、印刷しても良い。

こうした商品の情報は、商品をカテゴリに分けておき、カテゴリ毎に表示するものとしても良い。「衣食住」などのカテゴリや、金額などで分類しておけば、特定しようとする商品の数が増えても、所望の商品に、容易にたどり着くことができる。なお、ここで言う「商品」には、靴、食器といった物のみならず、旅行や入場券などのサービスも含まれることは当然である。

かかる贈与仲介システムにおいて、商品情報記憶手段は、少なくとも、該商品の値段に関する情報と、当該商品の外観写真を記憶しているものとし、一覧的に表示する際、この外観写真を、拡大表示可能に表示することも好適である。

10 この場合には、登録しようとする商品の外観写真を、拡大して参照できるので、一度に認識できる情報を増やすという商品選択の利便性と、商品を拡大して見たいという商品情報の詳細性とを、同時に満足することができる。

上記の贈与仲介システムでは、贈与を受ける者が予め特定する商品は、この

15 システムのデータ蓄積手段内に予め登録されているものであったが、贈与を受けようとする商品の情報は、必ずしもシステム内になければならない訳ではない。例えば、商品に関する情報を、ネットワーク上の他のデータ蓄積手段から、該蓄積手段を特定する情報と共に取得するものとし、取得された商品に関する情報のうち、少なくとも値段に関する情報と、前記データ蓄積手段を特定する

20 情報とを取り出し、一覧的に表示するものとすればよい。少なくともこれらの情報が一覧的に表示されていれば、贈与しようとする者は、贈与するか否か、贈与する場合はどこで購入すればよいかを判断することができる。

このように登録した商品を一覧的に表示する構成を備えた贈与仲介システム

25 ムでは、登録された商品の削除を指示する削除ボタンを表示するものとすること

も有用である。一旦、商品を指定してこれを登録しても、後から削除したくなる場合があるからである。

上述した贈与仲介システムでは、贈与しようとする者は、贈与を受けようとする人が登録した商品を参照（例えば一覧的表示により参照）することができるが、更にネットワークを介して、直接これらの商品の購入を負担するシステムを構成することも可能である。すなわち、パスワードを用いたアクセスに対して、登録された商品を、一覧的に画面表示し、表示された商品について個別にその代金の負担の申し込みを受け付ける手段を設けるのである。この場合、
10 更に、申し込まれた商品を、申し込み済みとして表示する手段を設けても良い。

こうした負担の申込は、一人がひとつの商品の代金を負担するものとしても良いが、一人が二つ以上の商品の代金を負担するものとすることもできる。更に、この贈与仲介システムにおいて、パスワードを用いたアクセスに対して、
15 表示された商品の金額に対して、金額の一部の負担を指定可能とするものとする
ことができる。高額な商品や役務の場合には、一人で負担することが困難な場合も想定される。こうした場合に、一部負担を可能とすれば、代金負担の申込が容易となるだけでなく、単独では贈与を期待できないような高額商品の贈
呈、贈与を受けることも可能となる。こうした場合には、一部の負担が申し込
20 まれた商品について、申し込まれた負担部分の合計を表示するものとしても良
い。負担部分の合計が表示されれば、後から申し込む者にとって、残余の部分
を容易に知ることができ、好適である。

ここで、代金の負担の申込とは、直接オンラインで、支払いを済ませるもの
25 はもとより、ネットワークを介して、負担の申し出のみ済ませ、後から実際の

支払いを行なうものも含む。この場合、贈与仲介システムは、代金の負担が申し込まれた商品の代金の支払いを、申し込みを行なった者に求める支払い請求手段を備えればよい。こうした支払い請求手段としては、例えば銀行振込の用紙を送付したり、請求書を発行する手段などが該当する。

5

更に、ネットワークを介したアクセスが前記許可手段により許可されたとき、登録された商品を一覧的に画面表示すると共に、申し込み済みの商品については、申し込みを行なった者を特定する情報を併せて表示する詳細情報表示手段を備えることも考えられる。この場合、この情報を見るものは、贈与を受ける
10 者であり、受ける側は、誰がその商品を贈与してくれるのか、ネットワークを介して参照することにより知ることができ、好適である。

また、こうした贈与仲介システムにおいて、データ蓄積手段へのアクセスの期限を記憶しておき、この期限が経過したとき、申し込みの行なわれた商品に
15 ついての情報を、商品の登録を行なった者に通知するものとしても良い。こうすれば、贈与を受けようとして商品を登録した者は、期限の経過時に、どの商品が贈与されるかを、確実に知ることができる。

贈与を受ける者は、受け取る商品を自ら取りに行っても良いが、贈与仲介シ
20 ステムにおいて、第1の記憶手段に、贈与を受けようとする者についての情報として、当該者の現住所の他に、申し込み済みの商品の配達先を登録しておき、その配達先に商品の配達を受けるものとしても差し支えない。結婚の予定がある場合等には、贈与を受けようとする商品の登録を行なった時点での現住所と、結婚後に暮らす住所とは異なることが少ない。こうした場合に容易に対応する
25 ことができる。

本発明の贈与仲介システムは、

サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスを行ない、該ネットワークを介して行なわれる贈与を仲介
5 する贈与仲介システムであって、

贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に予め登録する記憶手段と、

贈与を行なう者をネットワーク上で認証する認証手段と、

前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行
10 ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可する第1の許可手段と、

該許可手段による許可を受けたアクセスの後、前記データ蓄積手段に蓄積されたデータ以外の商品に関する情報に基づいて贈与を受けようとする一以上
15 の商品を指定し、該指定された商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録する商品登録手段と、

該登録した商品を、前記認証手段によりネットワーク上で認証されたアクセスに対して参照可能とする商品参照手段と

を備えたことを要旨としている。

20 また、この贈与仲介システムに対応した贈与仲介方法の発明は、

サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスして行なわれる贈与を仲介する贈与仲介方法であって、

贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に、前記サーバの所定の記憶手段に予め登録し、

25 贈与を行なう者をネットワーク上で認証し、

前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可し、

- 5 該許可を受けたアクセスの後、前記データ蓄積手段に蓄積されたデータ以外の商品に関する情報に基づいて贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、
 該指定された商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録し、
 該登録した商品を、前記ネットワーク上で認証されたアクセスに対して参照可能とすること
- 10 を要旨としている。

- ここで、「データ蓄積手段に蓄積されたデータ」には、ネットワークを介した通信を実現するためのプログラムデータや、個人情報やパスワードに関するデータ等の贈与仲介システムを提供するために必要なデータが含まれる。この
- 15 「データ蓄積手段に蓄積されたデータ」として、贈り物としての商品の品名や品番、写真等のデータを含めることも可能である。

- かかる贈与仲介の手法によれば、個人情報の認証がなされることを条件として、ネットワークを介したデータ蓄積手段へのアクセスを許可する。この許可
- 20 を受けたアクセス後に、商品登録手段が、データ蓄積手段に蓄積されたデータ以外の商品に関する情報に基づいて贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該指定された商品に関する情報をデータ蓄積手段に登録する。従って、データ蓄積手段にデータが蓄積されていない商品を、贈り物として登録することが可能となり、贈り物としての商品選択の幅を広げることができる。この結
- 25 果、贈与を受けようとする者が望んでいる商品を的確に贈呈することができる。

上記の贈与仲介システムおよびその方法には、様々な展開を考えることができる。以下、仲介装置を例にとって説明するが、仲介方法としても、ほぼ同様の展開が可能である。

5

データ蓄積手段への許可を受けたアクセス後に、該データ蓄積手段とネットワークを介して連結された他のデータ蓄積手段へのアクセスを許可する第2の許可手段と、他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報を、所定の指示に基づいて取得する商品情報取得手段とを備える構成とし、商品登録手段
10 を、該商品情報取得手段により取得された情報に基づいて贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該商品に関する情報をデータ蓄積手段に登録する手段とすることも好適である。こうすれば、データ蓄積手段へのアクセスの一機会を利用して、ネットワーク上で販売されている他の商品群から商品を選び、これを贈与を受けようとする商品として登録することが可能となる。従って、
15 贈与を受けようとする者が望んでいる商品を、外出することなく、簡便に探すことができる。

商品に関する情報として、該商品の品名や品番等の該商品自体に関する情報に加えて、他のデータ蓄積手段内において商品に関する情報が格納されるアドレスの情報
20 レスの情報を取得する手段とすることも、贈与を受けようとする者によってネットワーク上で選択された商品を簡便かつ確実に特定することができる点で望ましい。

データ蓄積手段を、データとして、商品に関する情報を予め蓄積する手段と
25 するとともに、商品情報取得手段を、該データ蓄積手段に蓄積された商品に関

する情報および他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報の双方を
取得可能な手段とし、商品登録手段を、該商品情報取得手段により取得された
双方の情報を、データ蓄積手段内の共通のリスト上に登録する手段としてもよ
い。こうすれば、贈与を受けようとする者が望む商品がデータ蓄積手段または
5 他のデータ蓄積手段の双方から登録された場合であっても、登録された商品を
一括して管理することができる。特に、多数の商品が登録された場合には、登
録後の種々の管理が容易となる。

データ蓄積手段内の共通のリスト上に登録された情報を、一覧的に画面表示
10 する表示手段を備えることも好適である。こうすれば、今までにどんな商品を
登録したかを、贈与を受けようとする者自身が簡単に確認することができる。
また、贈与を行なう者にとっても、共通のリストを参照することで、一の機会
で贈答商品を決定することができる。

15 商品登録手段によって情報が登録された商品の代金を、データ蓄積手段を管
理するサーバと他のデータ蓄積手段を管理するサーバとの間で、ネットワーク
を介して決済する決済手段を備えることも可能である。このような贈与を行な
う者を代理する決済手段を備えることで、贈与を受けようとする者が希望する
商品を、贈与を受けようとする者による支払いを待たずに確保することが可能
20 となる。

データ蓄積手段にネットワークを介してアクセス可能な端末を、商品を販売
する店舗に配置し、商品登録手段を、前記端末からの許可を受けたアクセスの
後、贈与を受ける者が該店舗で確認した商品の情報に基づいて、贈与を受けよ
25 うとする一以上の商品を指定し、該商品に関する情報を前記データ蓄積手段に

登録する手段とすることも望ましい。こうすれば、贈与を受ける者は、店舗で商品を確認した上で、贈与を希望する商品を選択することが可能となり、所望する品質の商品を確実に受け取ることができる。

- 5 本発明を、サーバ上に設けられたデータ蓄積手段にネットワークを介してアクセスを行ない、該データ蓄積手段に贈与を受けようとする商品を登録するプログラムを記録した記録媒体として把握することも可能である。この記録媒体は、

- サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段にネットワークを介してアクセスを行ない、該データ蓄積手段に贈与を受けようとする商品を登録するプログラムを、コンピュータに読み取り可能に記録した記録媒体であって、
- 10

- 前記データ蓄積手段以外の他のデータ蓄積手段にアクセスされた場合に、該他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報を、所定の指示に基づいて取得する機能と、
- 15

該取得された情報に基づいて前記贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録する機能とを記録したことを要旨とする。

- 20 かかる記録媒体に記録されたプログラムは、コンピュータにより読み取られて実行される。コンピュータは、このプログラムを実行し、データ蓄積手段への贈与を受けようとする商品の登録を実現する。このようなプログラムがコンピュータによって実現されることにより、データ蓄積手段に贈与を受けようとする商品を登録する際、他のデータ蓄積手段に情報が格納された商品であって
- 25 も、該データ蓄積手段に簡単に登録することができる。

なお、記録媒体に記憶された各機能を実現するプログラムは、ネットワークに接続されたサーバなどに保存・記憶しておき、必要に応じて実行用のコンピュータにダウンロードして利用することも可能である。こうしたサーバの形態
5 あるいはサーバからプログラムを公衆送信する場合も、本願の媒体の一形態とみなすことができる。

図面の簡単な説明

図 1 は、本発明の実施例であるギフトサービスシステムにつき、該システム
10 を実現するためのハードウェアの構成を示す説明図である。

図 2 は、ギフトサービスシステムの内容を示すブロック図である。

図 3 は、登録処理ルーチンの内容を示す説明図である。

図 4 は、贈答品指定処理ルーチンの内容を示す説明図である。

図 5 は、発送管理ルーチンの内容を示す説明図である。

15 図 6 は、サーバ S V にアクセスしたときに、ディスプレイに最初に表示される初期画面の様子を示す説明図である。

図 7 は、会員登録画面の様子を示す説明図である。

図 8 は、会員登録画面における記入例を示す説明図である。

図 9 は、会員登録後の確認画面の様子を示す説明図である。

20 図 10 は、会員サイトの入口画面を示す説明図である。

図 11 は、会員サイトの案内画面を示す説明図である。

図 12 は、受領者の登録画面を示す説明図である。

図 13 は、商品登録のインデックスページを示す説明図である。

図 14 は、商品リストが表示された画面の様子を示す説明図である。

25 図 15 は、選択された商品の一覧画面を示す説明図である。

図16は、ゲストサイトの入口画面を示す説明図である。

図17は、贈答品リストが表示された画面の様子を示す説明図である。

図18は、贈答品の一欄画面を示す説明図である。

図19は、選定商品の変更画面を示す説明図である。

5 図20は、第1実施例のギフトサービスシステムの内容を示すブロック図である。

図21は、商品登録処理ルーチンAの内容を示す説明図である。

図22は、販売サイト案内画面を示す説明図である。

図23は、ディスプレイ80b上にサブブラウザSDが表示されたときの様子を示す説明図である。

図24は、サブブラウザSD上で商品が選択されたときの様子を示す説明図である。

図25は、サブブラウザSD上で選択された商品を登録するときの様子を示す説明図である。

15 図26は、贈答品リストが表示された画面の様子を示す説明図である。

図27は、第2実施例のギフトサービスシステムの内容を示すブロック図である。

図28は、商品登録処理ルーチンBの内容を示す説明図である。

図29は、「T百貨店の取扱品」というタブZHのクリック後に表示される商品登録画面を示す説明図である。

20 図30は、T百貨店の係員による商品情報の記載後の商品登録画面を示す説明図である。

図31は、贈答品リストが表示された画面の様子を示す説明図である。

25 発明を実施するための最良の形態

以上説明した本発明の構成および作用を一層明らかにするために、以下本発明の実施の形態を実施例に基づき説明する。図1は、本発明の贈与仲介システムの実施態様の一例であるギフトサービスシステムにつき、該システムを実現するためのハードウェアの構成を示す。ギフトサービスシステムとは、特定の
5 他人から何らかの商品を受領することが予定されている本人（以下、受領者という）が、受領を希望する商品をネットワーク上に予め登録しておき、この登録の旨を知った他人が、ネットワーク上にアクセスして、登録された商品の中から贈ろうとする商品を選定することにより、選定された商品を本人に送り届けるシステムをいう。なお、通常の世界習慣では、お祝いなどに伴う商品の受
10 領は、贈与や贈呈として認識されるが、本明細書では、贈与や贈呈により商品を受け取ることを、広く「受領」と呼ぶ。

結婚祝の場合を例にとると、結婚祝として贈られる商品の内容は、通常は、結婚の旨を告知された他人の判断によって決められる。これに対し、ギフトサ
15 ービスシステムは、このような結婚祝を贈ろうとする他人に、贈るべき商品に関し、贈られる本人の意思に基づく適切な判断材料を提供する。

ギフトサービスシステムを実現するためのハードウェアは、図1に示すように、受領者がアクセスを行なう第1の端末80と、受領者にお祝いとして何ら
20 かの商品を贈ろうとする他人（以下、贈与者という）がアクセスを行なう第2の端末90と、贈答商品の販売を行なう者（以下、販売者という）がアクセスを行なう第3の端末70と、ネットワークNW上で商品の販売を行なう者（以下、ネット販売者という）が所有するサーバSV2と、贈答商品についての情報の提供を含むギフトサービスの提供者（以下、サービス提供者という）が所
25 有するサーバSV1とから構成されている。なお、ギフトサービスシステムは、

第3の端末70およびサーバSV2の双方をハードウェアとして備える場合のほか、両者を備えない構成、第3の端末70またはサーバSV2のいずれかを備える構成によっても実現可能である。本発明の実施の形態では、第3の端末70をハードウェアとして備える場合を第1実施例、第3実施例とし、サーバSV2をハードウェアとして備える場合を第2実施例とする。

第1の端末80、第2の端末90および第3の端末70は、それぞれ、CPUやROM、RAM等からなるコンピュータ80c、90c、70cやハードディスク80a、90a、70a、ディスプレイ80b、90b、70b、キーボード80d、90d、70d、マウス80e、90e、70e等を備えるデスクトップ型のパソコンである。

コンピュータ80c、90c、70cのシリアルポートは、図1にそれぞれ実線、点線、二重線で示すように、モデム（図示せず）を介して公衆電話回線PTLに接続されている。この公衆電話回線PTLを介して、第1の端末80、第2の端末90および第3の端末70を外部のネットワークNWに接続することができる。もとより、専用回線を用いて、直接ネットワークに接続されるものとしても良い。なお、こうしたネットワークとしては、インターネットなどを考えることができる。

20

サーバSV1は、第1の端末80、第2の端末90および第3の端末70からの要求をネットワークNWを通じて受信し、この要求を処理するコンピュータである。このコンピュータは、各種演算処理を実行するためのCPU22を中心に、バス35により相互に接続されたROM24、RAM26、メモリコントローラ28、ディスプレイコントローラ30、シリアル入出力インタフェ

25

ース 32, 記憶装置 34, キーボードインタフェース 36, プリンタインタフェース 40 など、以下に説明する各ユニットを備えている。ROM 24 は、CPU 22 で各種演算処理を実行するのに必要なプログラムや参照データなどを予め格納しているメモリであり、後述する受領者に関する情報の登録や受領者

5 者に贈与する贈答品の指定等の実行に関するプログラムを格納する。RAM 26 は、CPU 22 で各種演算処理を実行するのに必要な各種データを一時的に格納するためのメモリである。

メモリコントローラ (MC) 28 は、記憶装置 34 への信号出力を制御する。

10 記憶装置 34 には、必要に応じて RAM 26 にロードされて実行される各種プログラムや、贈答品や販売者に関するデータ、あるいは、外部から入力された受領者ないし贈与者に関するデータなどが記憶されている。勿論、ROM 24 や CD-ROM 等 (図示せず) に、上記したと同様な各種プログラムや必要なデータなどを記憶しておき、これらの各種プログラムやデータをロードすること

15 により、コンピュータに実行させることも可能である。また、記憶装置 34 には、後述する様々な情報が蓄積される。即ち、この記憶装置 34 は、データ蓄積手段や第 1, 第 2 の記憶手段としても機能する。

シリアル入出力インタフェース (SIO) 32 は、外部からのデータの入出力

20 力を司る制御部であり、サーバ SV1 は、この SIO 32 を介して外部のネットワーク NW に接続されている。通常、サーバは、専用回線を用いて直接ネットワーク NW に接続されている。従って、SIO 32 も、ネットワーク NW において用いられるプロトコルに対応したネットワークカードとして実現されている。第 1 の端末 80、第 2 の端末 90 および第 3 の端末 70 も、ネットワ

25 ーク NW に接続されており、いずれの端末、サーバも、ネットワーク上で、そ

- れぞれを特定するアドレス（TCP/IPのプロトコルを採用している場合はIPアドレス）が付与されている。従って、こうしたアドレスを用いて、各端末70, 80, 90からサーバSV1にアクセスし、各端末とサーバSV1との間でデータの処理や送受信を行なうことが可能となる。なお、サーバSV1
- 5 へのアクセスは、総ての端末に対して許可されているが、サーバSV1の中に用意された各種ファイル、データについては、パスワードなどが設けられており、所定の条件を満たす者だけが、アクセスできる仕組みとなっている。こうしたパスワードの設定などについては、後述する。
- 10 サーバSV1は、パスワードのないアクセスに対しては、サービスの概要などの情報は開示するが、後述する種々の登録処理などは、パスワードなどによりアクセス権があることが承認された者からのアクセスのみ応答して、実行する。具体的には、サーバSV1は、第1の端末80からの指示に基づいて登録処理を実行するとともに、第2の端末90からの指示に基づいて贈答品指定処
- 15 理を実行し、第3の端末70からの指示に基づいて発送管理処理を実行する。この登録処理、贈答品指定処理、および発送管理処理の詳しい内容については後述する。

- なお、シリアル入出力インタフェース（SIO）32は、文字やデータをコード情報の形で入力するが、これ以外の形態で入力可能な構成としてもよい。
- 20 例えば、音声情報や文字の形状に関する情報を入力するためのインタフェースを設け、入力された情報を、CPU22が判読可能なデジタル情報に変換し、これを音声認識や文字認識により文字列に変換してから入力する構成などを考えることができる。

キーボードインタフェース 25 (K I) は、キーボード 38 からの信号の入出力を司る。への信号出力を制御する。ディスプレイコントローラ (D C) 30 は、カラー表示可能な表示装置としての液晶ディスプレイ 20 への信号出力を制御し、プリンタインタフェース 40 (P I) は、プリンタ 42 へのデータの出力を制御する。

次に、以上のハードウェアを用いて実行されるギフトサービスシステムの内容について説明する。図 2 は、ギフトサービスシステムの内容を示すブロック図である。まず、(1) 受領者は、自己のコンピュータ、この例では第 1 の端末 80 を用いて、サービス提供者のサーバ S V 1 にアクセスし、会員登録を行なう。会員登録の完了後、サービス提供者は、サーバ S V 1 内に、会員登録された受領者 (以下、登録者という) 用のサイトを開設するとともに、このサイトへの登録者によるアクセスを可能とする登録者 I D および登録者パスワードを発行し、(2) この登録者 I D および登録者パスワードを登録者に通知する。この通知の方法としては、会員登録の完了後に、サーバ S V 1 からの送信に基づいて、第 1 の端末 80 のディスプレイ 80 b に表示する方法や、郵便や電子メール等を用いて通知する方法などを考えることができる。

登録者パスワードを通知された受領者は、第 1 の端末 80 を用いて再度サーバ S V 1 にアクセスし、登録者 I D と登録者パスワードを入力する。この入力により、登録者用のサイトを訪問するだけでなく、各種の登録処理を行なうことが可能となる。

登録者用のサイトには、後述する商品リストが、商品のスペックを把握可能な形態で準備されている。(3) 登録者は、商品リストの中から自己が受領を

希望する商品を選択し、サイト上に登録する。

商品の登録を完了した後、(4)登録者にはメッセージカードが郵送される。このメッセージカードには、サービス提供者によって発行された贈与者IDと
5 贈与者パスワードが予め印刷されている。(5)登録者は、このメッセージカードに所定の挨拶文を記載し、贈与者に渡す。なお、サービス提供者は、登録者が希望する場合には、贈与者への連絡をサービス提供者が代行し、サービス提供者が、贈与者に、贈与者IDおよび贈与者パスワードの情報を、電子メールやFAX等で通知することも可能である。

10

メッセージカードが渡されたことによって事情を把握した贈与者は、自己のコンピュータ、即ちこの例では第2の端末90を用いてサーバSV1にアクセスし、贈与者IDと贈与者パスワードを入力する。この入力により、登録者用のサイトにおいて、登録者によって選択された商品のリスト(以下、贈答品リ
15 ストという)を見ることができる。(6)贈与者は、贈答品リストに記載された商品の中から受領者に贈与しようとする適当な商品を選択し、贈答品をサイト上に登録する。

贈答品の登録を完了した後、サービス提供者は、(7)販売者に対して贈答
20 品の発注を行なうとともに、(8)贈答品に応じた額の請求書を贈与者に送付する。(9)贈与者は、銀行振込やオンライン決済等により、請求された額の代金をサービス提供者に支払う。この代金の支払いがあった後、(10)サービス提供者は、販売者に対して贈答品の発送の旨を指示する。なお、贈答品を受け取る日時が受領者によって指定されている場合には、この指定された日時
25 に基づいて発送する旨が指示される。

販売者は、(11) 上記指示に基づいて、受領者に贈答品を発送し、(12) 受領者が贈答品を受け取った旨をサービス提供者に報告する。(13) この報告を受けたサービス提供者は、贈与者に対し、受領者が贈答品を受け取った旨を、電子メールやFAX等により通知する。

以上、ギフトサービスシステムの内容について説明した。次に、このようなギフトサービスシステムを実現する際に、サーバSV1により実行される処理である、登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理について説明する。登録処理、贈答品指定処理、発送管理処理は、それぞれ図2における(1)から(5)までの作業、(6)から(8)の作業、(9)から(13)までの作業を、サーバSV1内のコンピュータの処理によって行なうものである。従って、登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理は、この順に実行される。

登録処理の内容および処理手順を図3の登録処理ルーチンに示す。この登録処理ルーチンは、登録を行なおうとする者が、まずサーバSV1に接続し、「会員登録」を選択したときに起動される。即ち、サーバSV1が、ネットワークNWを通じ、会員登録を行なう旨の信号を受け取ったときに起動されるのである。以下、上記信号を第1の端末80から受け取ったものとして説明する。

20

図3に示すように、本ルーチンが起動されると、まず、会員登録処理を行なう(ステップS100)。会員登録処理は、ギフトサービスシステムを利用しようとする者を会員として登録する処理であり、その内容は、以下の通りである。まず、登録申込書の書式データを公衆電話回線PTLを介して第1の端末80に送信する。この後、氏名等の受領者の個人情報を受信したときに、登録

25

者IDないし登録者パスワードを決定し、この登録者IDおよび登録者パスワードを第1の端末80に送信する。登録者IDおよび登録者パスワードは、受信した個人情報とリンクさせた形態でサーバSV1内に記憶される。

- 5 なお、登録者IDおよび登録者パスワードを決定する際に、この登録者IDないし登録者パスワードに対応する贈与者IDおよび贈与者パスワードを併せて決定し、登録者IDおよび登録者パスワードと贈与者IDおよび贈与者パスワードの双方を、第1の端末80に送信することとしてもよい。
- 10 会員登録処理の終了後、登録者IDおよび登録者パスワードが入力されたか否かを判断し（ステップS110）、登録者IDおよび登録者パスワードが入力されたと判断した場合に、受領者登録処理、商品登録処理を行なう（ステップS120、ステップS130）。なお、会員登録の処理の後には、一旦サーバSV1との接続を切り、登録者IDとパスワードを、Eメールなどで送付し、
- 15 その後、再度サーバSV1との接続がなされるようにすることも現実的である。また、本実施例では、ステップS110において、正しい登録者IDおよび登録者パスワードが3回連続して入力されなかったと判断した場合には、登録処理ルーチンを終了する構成とし、贈答商品のラインナップ等が、会員以外の同業者等によって覗き見されることを防止している。

20

- 受領者登録処理（ステップS120）は、受領者に関し、贈与を受ける内容に関する情報を登録する処理である。この処理が起動されると、まず、受領者の登録フォーマットのデータを公衆電話回線PTLを介して第1の端末80に送信する。この結果、第1の端末80には、会員登録のための登録フォーマットが表示される。この登録フォーマットには、受領者の氏名や住所等のほか、
- 25

商品の発送希望日や贈与者の予定人数を記載する欄が設けられている。これらの項目が記入された登録フォーマットのデータを受信したときに、受信データに基づいて受領者リストを作成し、このリストを記憶する。

- 5 なお、本実施例では、登録者自身が受領者となる蓋然性が高いことを考慮し、会員登録処理（ステップS100）により既に登録された受領者の氏名や住所等を予め各欄に記載した登録フォーマットが、第1の端末80に送信される。従って、氏名や住所等の二度に亘る入力を回避し、登録者の操作負担を軽減している。また、受領者の登録フォーマットは、複数の受領者を入力可能な形態
- 10 とされている。

- 商品登録処理は、受領者が授受を希望する商品を登録する処理であり、その内容は以下の通りである。サーバSV1は、まず、後述する商品リストのデータをネットワークNWを介して第1の端末80に送信する。この結果、第1の
- 15 端末80のディスプレイ80bには、各種商品のイメージやスペックが記載された商品リストが、各商品を選択可能に表示される。この後、商品リストの中から所定の商品が選択された旨を受信したときに、選択された商品に基づいて贈答品リストを作成し、記憶する。この贈答品リストの具体的な態様については後述する。

20

なお、図3の登録処理ルーチンにおいて、受領者登録処理、商品登録処理を実行する順序を逆にしても差し支えない。

- 次に、受領者登録処理および商品登録処理の双方が完了したか否かを判断する処理を行ない（ステップS140）、双方が完了していないと判断した場合
- 25

には、未だ完了していない先の処理に戻って、上記の処理を繰り返す。双方の処理が完了したと判断した場合には、カード作成処理を行なう（ステップ S 150）。

- 5 カード作成処理は、前述したメッセージカードを作成する処理であり、その内容は以下の通りである。まず、贈与者 ID ないし贈与者パスワードを決定し、決定された贈与者 ID および贈与者パスワードをメッセージカードに印刷する。
- 10 なお、本実施例では、贈与者が複数ある場合には、各贈与者ごとに異なった ID およびパスワードとなるように、贈与者 ID および贈与者パスワードを決定する。勿論、贈与者 ID、贈与者パスワードのうちのいずれか一方のみが異なるように、贈与者 ID および贈与者パスワードを決定してもよい。
- 15 また、本実施例では、決定された贈与者パスワードを登録者パスワードとリンクさせて記憶する。このように 2 つのパスワードをリンクすることにより、登録者用のサイトに格納されたデータ（例えば、贈答品リスト等）への贈与者によるアクセスが許容される。
- 20 カード作成処理が終了したときに、本ルーチンを終了する。なお、本ルーチンにおいて、贈与者のメールアドレスの情報を登録する処理を設けるとともに、この登録に基づき、決定された贈与者 ID および贈与者パスワード等を、電子メールで第 2 の端末 90 に送信する処理を付加してもよい。
- 25 次に、贈答品指定処理の内容および処理手順を図 4 の贈答品指定処理ルーチ

ンに示す。上記の登録処理の終了後、サーバSV1は、第2の端末90からの贈与者用のサイトへのアクセスを待機する状態となる。贈与者用のサイトへのアクセスがなされたと判断したときに、贈答品指定処理ルーチンが起動する。

- 5 図4に示すように、本ルーチンが起動されると、まず、贈与者IDおよび贈与者パスワードが入力されたか否かを判断し（ステップS200）、入力されたと判断した場合に、贈答品指定処理を行なう（ステップS210）。なお、本実施例では、ステップS200において、正しい贈与者IDおよび贈与者パスワードの組合わせが3回連続して入力されなかったと判断した場合には、贈答品指定処理ルーチンを終了する構成としている。従って、冷やかしいやがらせ等のアクセスを防止している。受領者が登録したリストに対して、対価の支払いの意志がないのに、後述する申し込みの処理を繰り返し、他人が申し込みないようにするといったいたずらなどを防止している。
- 10

- 15 贈答品指定処理は、贈与者が、贈答品リストの中から受領者に贈りたい商品を選択することにより、選択された商品を贈答品として登録する処理であり、その内容は以下の通りである。この処理が起動されると、サーバSV1は、まず、贈答品リストのデータを、ネットワークNWを介して第2の端末90に送信する。この結果、第2の端末90のディスプレイ90bには、受領者によって選ばれた各商品について、そのイメージやスペックが記載された贈答品リストが、各商品を選択可能に表示される。この後、贈答品リストの中から所定の商品が選択された旨を受信したときに、選択された商品を贈答品として指定し、この指定の旨を記憶する。
- 20

- 25 この贈答品指定処理が終了した後、贈与者登録処理を行なう（ステップS2

20)。贈与者登録処理は、贈答品の贈与者の情報を登録する処理であり、その内容は以下の通りである。まず、贈与者の登録フォーマットのデータを公衆電話回線PTLを介して第2の端末90に送信する。この結果、第2の端末90のディスプレイ90bには、贈与者の氏名、住所等が空欄とされた登録フォーマットが表示される。この後、贈与者により記入された氏名、住所等のデータを受信したときに、受信データに基づいて贈与者リストを作成する。

贈与者リストは、贈与者の氏名等の個人情報を、贈与者IDおよび贈与者パスワード、贈答品に関する情報とリンクした形態で作成され、サーバSW内に記憶される。

なお、贈与者リストの作成や記憶に先立って、電話やFAX等の通信手段により、「サイトにアクセスしている者」と「贈与者の登録フォーマットに記載された者」とが一致するか否かを確認する処理を行なってもよい。こうすれば、欺瞞に基づく贈答行為を防止することができる。

また、図4の贈答品指定処理ルーチンにおいて、贈答品指定処理、贈与者登録処理を実行する順序を逆にしても差し支えない。

20 贈与者登録処理後、贈答品指定処理および贈与者登録処理の双方が完了しているか否かを判断する処理を行ない（ステップS230）、双方が完了していないと判断した場合には、未だ完了していない先の処理に戻って、上記の処理を繰り返す。双方の処理が完了したと判断した場合には、請求書作成処理を行なう（ステップS240）。

請求書作成処理は、贈与者への請求書を作成する処理である。即ち、贈与者による贈答品の指定内容に基づいて、贈与者への請求額を演算し、この演算結果を、贈与者氏名、贈与者パスワード、贈答品の指定が行なわれた日、贈答品の種類等とともに請求書に印刷する。この処理により、各贈答品に対する債務
5 内容（例えば、どの贈与者がいつまでにいくら払うか、入金履歴等）や受領者による贈答品の受領の有無が記載された請求書リストが作成され、この請求書リストの内容が記憶される

請求書作成処理が終了したときに、本ルーチンを終了する。なお、本ルーチン
10 において、ステップ S 2 4 0 において作成された請求書のファイルを、電子メールで第 2 の端末 9 0 に送信する処理を付加してもよい。

次に、発送管理処理の内容および処理手順を図 5 の発送管理処理ルーチンに示す。上記の贈答品指定処理の終了後、サーバ S V 1 は、記憶された請求書リ
15 ストを監視する状態となる。請求書リストに新たな入金の履歴が入力されたと判断したときに、発送管理処理ルーチンが起動する。

図 5 に示すように、本ルーチンが起動されると、まず、請求書リストを参照し（ステップ S 3 0 0）、残金のない（即ち、代金の全額が支払われた）贈答
20 品があるか否かを判断する処理を行なう（ステップ S 3 1 0）。残金のない贈答品がない場合には、本ルーチンを終了し、残金のない贈答品がある場合には、この贈答品については全額支払われた旨を請求書リストに記録するとともに（ステップ S 3 2 0）、この贈答品の発送を指示する処理を行なう（ステップ S 3 3 0）。

なお、ステップS 3 3 0の処理では、受領者登録処理（図3のステップS 1 2 0）において記憶された商品の発送希望日のデータを参照し、発送希望日により遅い日とされている場合には、上記贈答品を、発送希望日に発送するよう指示する。

5

ステップS 3 3 0における発送指示処理は、発送指示が記載されたファイルをネットワークNWを通じて第3の端末7 0に送信することにより行なわれる。この送信終了後、第3の端末7 0から受領通知（贈答品が受領者に受領された旨の通知）を受信したか否かを判断する処理を行なう（ステップS 3 4 0）。

- 10 受領通知を受信したと判断した場合には、この贈答品については納品済みである旨を請求書リストに記録するとともに（ステップS 3 5 0）、贈与者宛ての納品完了報告書を作成する処理を行ない（ステップS 3 6 0）、本ルーチンを終了する。なお、本ルーチンにおいて、ステップS 3 6 0において作成された納品完了報告書のファイルを、電子メールで第2の端末9 0に送信する処理を
- 15 付加してもよい。

以上、ギフトサービスシステムの実現の際に実行される登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理について説明した。次に、上記の登録処理、贈答品指定処理に基づき、ギフトサービスシステムが実際に提供される様子を、図6

20 ないし図1 7を参照しつつ、具体的に説明する。図6は、受領者が第1の端末8 0を用いてサーバSV 1にアクセスしたときに、ディスプレイ8 0 bに最初に表示される初期画面の様子を示す説明図である。

図6に示すように、ディスプレイ8 0 b右側のテキスト画面TDには、「ギ

25 フト・レジストリー」というギフトサービスシステムの商標名と、「ご案内」,

「会員登録」、「会員サイト」、「ゲストサイト」という4つのタブIF, MR, MS, GSが表示されている。また、ディスプレイ80b左側のインデックス画面MDには、上記4つのタブに「ホーム」というタブHMを含む5つのタブが表示されている。これらのタブをマウス80eなどのポインティングデバイスを用いてクリックすることにより、各タブへの表示内容に関連するページに進むことができる。

受領者が、ギフト・レジストリーというサービスを利用しようとする場合には、初期画面上において、マウス80eにより会員登録タブMRをクリックすればよい。これにより、図7に示す会員登録のページがディスプレイ80bに表示される。

図7に示すように、テキスト画面TDには、氏名、郵便番号、現住所、電話番号、メールアドレス、本サービスの利用用途、コメントという各項目名と、これらの各項目に対応する記入欄、および登録タブREが表示されている。

受領者が、本サービスを利用するために会員となることを希望する場合には、まず、各項目についての個人情報を、キーボード80dやマウス80eを用いて上記記入欄に記入する。上記記入欄には、利用用途を「婚礼」として、図8に示すような個人情報が記入されたものとする。

なお、コメントという項目についての記入は、義務的なものではなく、空欄のままにしておいても差し支えない。また、本サービスの利用用途として、「その他」という項目がチェックされた場合に、婚礼、出産、誕生日以外の利用用途の選択肢や記入欄を表示することも可能である。

個人情報を記入した後、受領者は、登録タブREをマウス80eでクリックする。すると、記入された個人情報のデータが、公衆電話回線PTLを介してサービス提供者のサーバSV1に送信される。受信したサーバSV1は、登録者IDと登録者パスワードを発行し、第1の端末80に送信する。すると、ディスプレイ80b上のテキスト画面TDには、会員として登録された事実と登録者IDおよび登録者パスワードを知らせる登録確認画面が表示される。この登録確認画面の様子を図9に示す。以後、受領者は、「ギフト・レジストリー」の登録者となり、「特許太郎」という登録者IDおよび「1234abcd」という登録者パスワードを用いて、後述する会員サイトやゲストサイトにアクセスすることが可能となる。

なお、上記の登録確認画面の表示に先立って、電話やFAX等の通信手段により、「サイトにアクセスしている者」と「会員登録のフォーマットに記載された者」とが一致するか否かの確認を行ない、一致する場合にのみ上記の登録確認画面を表示することとしてもよい。こうすれば、不正な登録を防止することができる。

会員登録がなされた後、インデックス画面MD上の会員サイトタブMRをマウス80eでクリックすると、テキスト画面TDには、図10に示すような会員サイトの入口を示す画面が表示される。この画面において、正しい登録者IDおよび登録者パスワードが記入されてはじめて、会員サイトの中の情報にアクセスすることができる。

なお、図10に示す会員サイトの入口を示す画面において、IDの記入欄に

所定のID（例えば、sample）を入力することにより、ギフト商品の種類の一欄を表示する構成とすることも可能である。

「特許太郎」という登録者IDおよび「1234abcd」という登録者IDを、それぞれの記入欄に記入し、「GO」というタブをクリックすると、図11に示す案内画面が表示される。この案内画面には、正規の登録者であることを確認した旨と、「登録者情報の変更」、「受領者登録」、「商品登録」、「選定商品の変更」という4つのタブMC、RR、SR、SCが表示されている。

10

登録者情報の変更タブMCは、既に登録されている登録者の個人情報の内容を変更する際に用いられる。例えば、住居の移転等の理由により、会員の現住所等に変更が生じた場合には、このタブMCをクリックすることにより、現住所等の変更を行なうことができる。

15

登録者が、商品の受領者を登録する場合には、図11の案内画面上において、受領者登録タブRRをクリックする。する図12に示す受領者登録のページがディスプレイ80bに表示される。

図12に示すように、テキスト画面TDには、「受領者1」および「受領者2」という2人分の受領者についての情報を記入する欄と、登録タブRE1が表示されている。本実施例では、受領者が複数存在し得ることを考慮し、2人分の受領者についての情報を記入可能としている。これにより、婚礼の場合において、結婚祝としての商品を、新郎、新婦のいずれの関係者も、受領者の情報を確認しながら贈ることが可能となる。

25

登録者は、各受領者について、氏名、郵便番号、お届け先住所、電話番号、メールアドレス、ゲスト予定人数という情報を、所定の記入欄に記入する。ゲスト予定人数の欄には、各受領者が、予測される贈与者の数、即ち、自分に贈り物を贈るであろうと推測される人の数を記入する。

なお、図 1 2 に示すように、受領者登録のページがディスプレイ 8 0 b に表示されたときには、「受領者 1」の記入欄には、既に登録者自身の氏名、郵便番号、お届け先住所、電話番号、メールアドレスが記載されている。従って、登録者自身が受領者である場合には、登録者は、会員登録時に記入した氏名や住所等を、再びキーボード 8 0 d を操作して記入する必要がない。登録者は、画面に表示された氏名、郵便番号、お届け先住所、電話番号、メールアドレスの記載内容を点検し、ゲスト予定人数を記入するだけでよい。

15 また、「受領者 1」や「受領者 2」の登録内容に変更が生じた場合には、既に登録された情報に上書きすることにより、登録し直すことができる。

図 1 2 の画面上において、「受領者 1」欄に登録者である「特許太郎」さんの情報が、他方「受領者 2」欄に登録者である「特許花子」さんの情報が記入されたものとする。これらの情報の記入後に登録タブ R E 1 をクリックすることにより、「特許太郎」，「特許花子」の 2 名が受領者として登録される。

次に、ギフト商品の選定ないし登録について説明する。図 1 1 に示す案内画面上において、商品登録タブ S R タブをクリックすると、ディスプレイ 8 0 b には、図 1 3 に示すような商品登録のインデックスページが表示される。

このインデックスページにおいては、図 1 3 に示すように各種商品を「衣」，「食」，「住」，「遊」という 4 つに分類するとともに、各分類に属する具体的な品名（例えば、「衣」という分類中においては、バッグ，時計，アクセサ
5 リー等）を表示している。この具体的な品名が表示された領域をマウス 8 0 e でクリックすることにより、当該品名に属する各種商品が表示される。

なお、図 1 3 に示すインデックスページにおいて、「ショップ別検索」というタブをクリックすると、百貨店やホームセンター等の各店舗で扱われている
10 商品の検索をすることが可能である。また、取り扱われている店舗は不明だが、ブランド名が明らかである場合には、「ブランド別検索」というタブをクリックすることにより、各ブランドに属する商品の検索をすることができる。図 1
3 に示した「T 百貨店の取扱品」のタブ Z H や「他モールの取扱品」のタブ Z E は、第 2 実施例において利用するものであり、本実施例では、用いない。従
15 って、本実施例ではこれらのタブはないものとして扱い、これらのタブについての説明は、後述する。

図 1 3 に示すインデックスページにおいて、「衣」という分類に属する「バ
ッグ」という品名が表示された領域をクリックしたものとする。すると、ディ
20 スプレイ 8 0 b のテキスト画面 T D には、図 1 4 に示すようなバッグの商品リストが表示される。

商品リストには、各商品について、品番，品名，写真および価格に関する情報
が記載されている。図 1 4 に示す画面上で「N E X T」というタブをクリッ
25 クすると、商品として準備された他のバッグについての情報が表示される。ま

た、各商品の写真が表示された領域をクリックすると、メーカー品番、サイズ、材質、色等の商品スペック等の商品についての詳細な情報が、商品の拡大写真とともに表示される。

- 5 商品リストの右端には、「リストへ」と記された選択タブKGが、各商品ごとに表示されている。受領者は、商品リストの中から贈り物として受け取りたい商品を探し、適当な商品を見つけたときに、この商品についての選択タブKGをクリックする。すると、選択された商品の一欄がテキスト画面TDに表示される。この選択された商品の一欄は、図14に示す商品リスト画面右上の「登録内容を表示」というタブをクリックすることにより、いつでも見ることができる。

- 図14の画面上で、「受領者1」である特許太郎さんにより「C社リュック」が、「受領者2」である特許花子さんにより「A社ハンドバッグ」が、それぞれ選択され、ディスプレイ80b上に選択された商品の一欄が表示されたときの様子を、図15に示す。図15に示すように、テキスト画面TDには、選択された各商品名と、各商品についての数量、単価、小計金額、および選択された商品についての税別合計金額ないし総合計金額が表示される。商品を誤って選択してしまった場合には、当該商品について削除タブESをクリックすることで、該商品の選択を取り消すことができる。

- 商品が正しく選択されている場合には、図15に示す一欄画面において、各商品についての受領者を数字で入力する。上例の場合には、「A社ハンドバッグ」の欄に受領者2の「2」という数字を、「C社リュック」の欄に受領者1の「1」という数字を、それぞれ入力する。これにより、贈り物として受け取

りたい商品を、受領者別に登録することができる。なお、各受領者用に個別のパスワードを発行し、このパスワードを商品リストにアクセスする前に受領者に入力させることにより、図 1 5 に示す一欄画面上に、商品選択がなされた受領者を自動的に表示する構成とすることも可能である。

5

図 1 5 に示す一欄画面において、「受領者別一欄」というタブをクリックすると、選択された商品の一欄が、受領者別にソートされた形態で表示される。従って、各受領者によって多数の商品が選択されたような場合に、どの受領者が何の商品を選択しているかを、容易に把握することができる。

10

商品の選択を続ける場合には、「更に選択」というタブをクリックする。これにより、図 1 4 に示した商品リスト画面が再び表示される。一方、商品の選択が終了した場合には、図 1 5 に示す一欄画面において、登録タブ R E 2 をクリックすることにより、選択された商品が各受領者ごとに登録される。この登録内容に基づいて、後述する贈答品リストが作成される。

15

上記した、受領者による「受領者登録」および「商品登録」が完了した後、受領者には、「ギフト・レジストリー」のホームページのアドレスと贈与者 I D および贈与者パスワードが記載されたメッセージカードが郵送される。このメッセージカードを贈与者に渡すことにより、贈与者によるゲストサイトへのアクセスが可能となる。

20

即ち、贈与者が第 2 の端末 9 0 を用いてサーバ S V 1 にアクセスすると、ディスプレイ 9 0 b には、図 6 に示した初期画面が表示される。この初期画面上において、マウス 9 0 e によりゲストサイトタブ G S をクリックすると、テキ

25

スト画面TDには、図16に示すようなゲストサイトの入口を示す画面が表示される。この画面において、正しい贈与者IDおよび贈与者パスワードが記入されてはじめて、ゲストサイトの中の情報にアクセスすることができる。贈与者IDおよび贈与者パスワードを、それぞれの記入欄に記入し、「GO」というタブをクリックすると、図17に示す贈答品リストが表示される。

贈答品リストには、受領者が商品リストの中から選択した各商品についての情報が記載されている。図17に示す例では、受領者1である特許太郎さんによって選択された「C社リュック」等の商品と、受領者2である特許花子さんによって選択された「A社ハンドバッグ」等の商品について、品番、品名、写真および価格に関する情報が、表示されている。

図17に示すように、贈答品リストには、はじめに受領者1の選択に係る商品が表示され、次に、受領者2の選択に係る商品が表示されている。このように、受領者に選択された商品を、受領者ごとにソートされた形態で表示することにより、贈与者は、意図する受領者に対する贈答品を、容易に選択することができる。

受領者によって多数の商品が選択されている場合には、図17に示す画面上で「NEXT」というタブをクリックすると、選択されている他の商品についての情報が表示される。また、各商品の写真が表示された領域をクリックすると、メーカー品番、サイズ、材質、色等の商品スペック等の商品についての詳細な情報が、商品の拡大写真とともに表示される。

贈答品リストの右側には、「申込み」という欄および「申込状況」という欄

が、選択された各商品ごとに設けられている。申込み欄は、図17に示すように、商品価格のうちの全額を負担することを示す「全額」、商品価格のうちの半額を負担することを示す「1/2」、商品価格のうちの四分の一を負担することを示す「1/4」という3つの領域に分けられ、これらの各領域にはチェックボックスが設けられている。

贈与者は、まず、贈答品リスト中の商品から自己が受領者への贈り物とすることを希望する商品を選ぶ。次に、選んだ商品を贈り物とする場合に、商品価格に対して自己が負担する割合を決定し、選んだ商品について、申込み欄の「全額」、「1/2」、「1/4」のいずれかを、マウス90eでクリックする。これにより、クリックされた商品が、贈与者から受領者への贈り物として指定される。なお、贈与者は、贈答品リストの中から複数の商品を選択することが可能である。

15 贈答品リストの右端の申込状況欄には、現在の各商品についての申込状況が表示されている。例えば、図17に示す例では、「A社ハンドバッグ」という商品についての申込状況は「済」と表示されている。この表示は、価格の全額分が既に他の贈与者によって申込まれていることを意味する。また、「C社リュック」という商品についての申込状況は「3/4 済」と表示されている。この表示は、価格のうちの四分の三の額が既に他の贈与者によって申込まれていることを意味する。このように、各商品についての現在の申込状況を表示することで、受領者による希望商品の重複した受領を未然に防止することができる。

25 なお、本実施例では、図17に示すように、申込状況欄に、他の贈与者によって申込まれている割合のみを表示し、他の贈与者の氏名等の情報は、贈与者

のプライバシーを考慮し、表示しないこととしている。

なお、本実施例では、申込状況欄が「済」と表示されている商品については、申込欄のチェックボックスにチェックすることができないように構成されている。従って、図17に示す贈答品リストにおいて、「A社ハンドバッグ」という商品を申込むことはできない。また、「3/4 済」等のように、価格の一部についての申込み完了の旨が表示されている商品については、この申込状況と矛盾するチェックボックスにチェックすることができないように構成されている。例えば、図17に示す贈答品リストにおいて、「C社リュック」という商品について「全額」や「1/2」をチェックすると、「C社リュック」に対して申し込まれた金額の総計が「C社リュック」商品価格を超えてしまう。このような事態の発生を防止すべく、「C社リュック」という商品については、四分の一負担の申込みのみを可能とし、全額負担の申込みや半額負担の申込みを禁止している。

15

贈り物とすることを希望する商品について申込み欄のチェックボックスをチェックし、「選択完了」と表示されたタブをクリックすると、贈られる商品の一欄が、ディスプレイ90bのテキスト画面TDに表示される。この贈られる商品の一欄が表示された画面の様子を図18に示す。図18では、図17に示した贈答品リストにおいて、「C社リュック」という商品を、価格の四分の一負担で申込んだ場合における画面の様子を示している。

20

図18に示すように、テキスト画面TDには、贈与者によって選択された各商品の品名、品番、受領者、価格が表示されるとともに、各商品の価格に対する負担割合ないし負担額と、この負担額に基づいた税別合計金額ないし支払総

25

合計金額が表示される。

商品や負担割合を誤って選択してしまった場合には、当該商品について削除タブE S 2をクリックすることで、該商品の選択を取り消すことができる。また、商品の選択を続ける場合には、「更に選択」というタブをクリックする。これにより、図17に示した贈答品リスト画面が再び表示される。

商品が正しく選択されている場合には、図18に示した商品（贈られる商品）の一欄画面において、贈与者の氏名、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレスについての情報を、キーボード90dを用いて入力し、購入タブP Cをマウス90eを用いてクリックする。これにより、贈与者が、受領者1である特許太郎さんに、「C社リュック」という商品を、商品価格の四分の一を負担して贈る旨が登録される。

15 このように登録された情報に基づいて、以後、「ギフト・レジストリー」のサービス提供者から贈与者に請求書が送付される。サービス提供者は、商品の代金が各贈与者によって支払われたことを確認し、この確認後に、商品を、贈与者からの贈答品として各受領者に送付する。なお、上例のように、1の商品の代金が、複数の贈与者により分割して負担されるような場合には、全ての贈与者による代金の支払い完了後に、該商品を、各贈与者による共同の贈答品として受領者に送付する。

25 なお、「ギフト・レジストリー」では、受領者によって既に選定され、贈答品リストに登録された希望商品を変更することも可能である。具体的には、図11に示した案内画面において、選定商品の変更タブS Cをクリックすると、

図 1 9 に示す選定商品の変更画面がディスプレイ 8 0 b に表示される。

図 1 9 に示すように、選定商品の変更画面には、受領者が商品リストの中から選定した各商品の一覧表である選定商品リストが表示されている。この選定
5 商品リストには、前述した贈答品リストと同様に、受領者に選定された各商品についての品番、品名、写真および価格に関する情報が表示されている。

選定商品リストの右側には、贈答品リストと同様の「申込状況」という欄と、贈答品リストにはない「備考」という欄が設けられている。申込状況欄には、
10 商品価格に対して既に贈与者により申込まれた額の割合が、各商品ごとに表示される。また、備考欄には、申込んだ贈与者の氏名と該贈与者の負担割合についての情報が表示される。図 1 9 に示す例では、受領者 2 である特許花子様への贈答品として、「A 社ハンドバッグ」という商品が Z 様の全額負担で申込まれており、受領者 1 である特許太郎様への贈答品として、「C 社リュック」と
15 という商品が、X 様の二分の一負担、Y 様の四分の一負担で申込まれている。

従って、受領者は、選定商品リストを参照することにより、贈与者の氏名や金額負担割合の情報を、事前に確認することができる。なお、贈与者は、会員
20 サイトに入るための登録者 ID や登録者パスワードを所持していないため、会員サイト内にある選定商品リストにアクセスすることができない。

受領者が、既に選定された商品を削除する場合には、まず、画面に表示された選定商品リスト上において、削除したい商品の品名をクリックする。すると、当該商品に関する受取人、品番、品名、写真、価格、申込状況および備考欄が
25 反転表示される。この後に、画面右下「商品の削除」と表示されたタブをクリ

ックすることにより、既に選定された商品を削除することができる。この商品の削除に伴い、贈答品リストは、削除された商品を除外した内容に更新される。

- なお、本実施例では、既に贈与者により贈答品として選択された商品については、削除を禁止する構成を採っている。例えば、図19に示す例では、「C社リュック」、「A社ハンドバッグ」は、それぞれX様およびY様、Z様によって、既に贈答品として選択されている。このため、「C社リュック」や「A社ハンドバッグ」の欄をクリックしても、反転表示はなされない。即ち、これらの商品については、削除の対象商品としての選択を不能としている。勿論、
- 10 「C社リュック」や「A社ハンドバッグ」の欄をクリックされたときに、ディスプレイ80b上に、「この商品は、既に贈答品として贈与者に申し込みされておりますので、選択を取り止めることはできません」という旨の表示を行なうものとしても差し支えない。
- 15 受領者が、既に選定された商品を追加する場合には、図19に示す「商品の追加」と表示されたタブをクリックする。すると、図13に示した商品登録のインデックスページが表示される。この表示以降は、図13ないし図15の説明において既述したと同様に、商品リストの中から贈り物として受け取りたい商品を探し、この商品についての選択タブKGを選択することにより、商品を
- 20 追加することができる。この商品の追加に伴い、贈答品リストは、追加された商品を含む内容に更新される。

- 以上説明した本実施例によれば、贈与を受けようとする受領者は、ネットワークを介してサーバSV1にアクセスする際、個人情報登録し、登録された
- 25 登録者IDとパスワードとを用いて接続の許可を求める。サーバSV1では、

予め登録した登録者IDやパスワードとの対応が確認されてから、アクセスを許可する。アクセスの許可を受けた受領者は、記憶装置34に、贈与を受けようとする一以上の商品を登録する。従って、いたずらなどで、サーバSV1の記憶装置34に、商品が登録されるといったことがない。一方、贈与しようとする者は、贈与者用のパスワードを受け取り、これを用いてサーバSV1に接続を求めるから、受領者により登録された商品を、このパスワードを知っている者だけが参照することができる。従って、贈与を行なおうとする者だけが、登録された商品を参照することができ、贈与を受けようとするものが望んでいる商品を的確に贈呈することができる。登録された商品参照するのに、パスワードが必要となることから、無関係なものに、プライバシーを公開したり、いたずらで申し込みを受けたりすることがない。

本実施例の贈与仲介システムによれば、結婚や進学、就職などで、何人かの者がお祝いなどの贈呈を受ける者は、自己の希望する商品を重複なく受け取ることが可能になり、贈与する者は、本人が希望するものを、的確にかつ買い物に出かけたり配送の手配などの手間を要することなく贈呈することができる。しかも、そのためにサーバ上に登録する様々な情報を、無関係な他人から保護することができる。

次に本発明第2の実施例について説明する。第2実施例の贈与仲介システムは、ネットワーク上の他のサイトなどで販売している商品などの贈与も仲介可能とするシステムである。このシステムは、図1に示した第1実施例の構成とほぼ同一の構成により実現されるが、サーバSV2が存在し、贈与に関する商品の指定の範囲が広げられている点で、第1実施例と相違する。第1実施例と同一の部分については、説明を省略または簡略化する。なお、こうした構成上の

拡張を容易に行えるのは、インターネットなどのネットワークを用いたシステムでは、アドレスを指定するだけで、ネットワークNWを介して、端末は他のサイトにも簡単に接続できるからである。

- 5 第2実施例としてのギフトサービスシステムを実現するためのハードウェアは、図1に示した通りである。第2実施例で用いられるサーバSV2は、第1の端末80、第2の端末90およびサーバSV1からの要求をネットワークNWを通じて受信し、この要求を処理するコンピュータであり、第1実施例で説明したサーバSV1と同様に、CPU、ROM、RAM、メモリコントローラ、ディスプレイコントローラ、シリアル入出力インタフェース、記憶装置、
10 キーボードインタフェース、プリンタインタフェース等の各ユニットを備える。

- 各端末70、80、90およびサーバSV1、SV2は、相互にネットワークNWで接続されており、いずれの端末70、80、90、サーバSV1、SV2も、ネットワークNW上で、それぞれを特定するアドレス(TCP/IP
15 のプロトコルを採用している場合はIPアドレス)が付与されている。従って、こうしたアドレスを用いて、各端末70、80、90からサーバSV1、SV2にアクセスし、各端末70、80、90とサーバSV1、SV2との間でデータの処理や送受信を行なうことが可能となる。勿論、2つのサーバSV1、SV2間でアクセスを行ない、サーバSV1とサーバSV2との間でデータの
20 処理や送受信を行なうこともできる。なお、サーバSV1へのアクセスは、総ての端末に対して許可されているが、サーバSV1の中に用意された各種ファイル、データについては、パスワードなどが設けられており、所定の条件を満たす者だけが、アクセスできる仕組みとなっている。こうしたパスワードの設定
25 などについては、既に述べた。

サーバSV1は、パスワードのないアクセスに対しては、サービスの概要などの情報は開示するが、後述する種々の登録処理などは、パスワードなどによりアクセス権があることが承認された者からのアクセスのみ応答して、実行することとも既に説明した。サーバSV1の基本的な動作は、第1実施例と同様である。

次に、以上のハードウェアを用いて実行されるギフトサービスシステムの内容について説明する。図20は、第1実施例のギフトサービスシステムの内容を示すブロック図である。図20に示した処理の内、(1)～(13)のうち、(3)「商品登録」以外の処理は、第1実施例と実質的に同様である。システムの利用時には、(1)受領者は、自己のコンピュータ、この例では第1の端末80を用いて、サービス提供者のサーバSV1にアクセスし、会員登録を行なう。会員登録の完了後、サービス提供者は、サーバSV1内に、会員登録された受領者（以下、登録者という）用のサイトを開設するとともに、このサイトへの登録者によるアクセスを可能とする登録者IDおよび登録者パスワードを発行し、(2)この登録者IDおよび登録者パスワードを登録者に通知する。

登録者パスワードを通知された受領者は、第1の端末80を用いて再度サーバSV1にアクセスし、登録者IDと登録者パスワードを入力する。この入力により、登録者用のサイトを訪問するだけでなく、各種の登録処理を行なうことが可能となる。

登録者用のサイトには、サービス提供者によって作成された商品リストが、

商品のスペックを把握可能な形態で準備されるとともに、サーバSV2内の、ネット販売者が提供する販売サイトに対するリンクが張られている。(3)登録者は、商品リストを参照するか、またはリンク先にアクセスすることにより、自己が受領を希望する商品を選択し、登録者用のサイト上に登録する。

5

商品の登録を完了した後の処理は、第1実施例と変わるところはないが、第2実施例では、他のサイトなどの商品も登録して贈与の対象にできるので、代金の決済に、第3者の商品が関係するという点では、第1実施例と相違する。

10 この場合、ネット販売者が、商品代金の支払いを前提として受注をするのであれば、サービス提供者が、贈与者からいずれ支払われる分の代金を立て替え、贈答品の発注の際にネット販売者に支払えばよい。また、ネット販売者が、受注日から長期間後の発送を受け付けない場合には、一旦、サービス提供者が贈答品を受け取り、発送日まで保管しておけばよい。こうすることで、贈与者に選択された贈答品を確保することができる。

15

以上、ギフトサービスシステムの内容について説明した。次に、このようなギフトサービスシステムを実現する際に、サーバSV1により実行される処理である、登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理について説明する。登録処理、贈答品指定処理、発送管理処理は、それぞれ図20における(1)から
20 (5)までの作業、(6)から(8)の作業、(9)から(13)までの作業を、サーバSV1内のコンピュータの処理によって行なうものである。従って、登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理は、この順に実行される。

登録処理の内容および処理手順は、第1実施例の図3の登録処理ルーチンと
25 して既に説明した。また、贈答品指定処理の内容および処理手順については、

第1実施例の図4の贈答品指定処理ルーチンとして既に示した。更に、発送管理処理の内容および処理手順については、第1実施例の図5の発送管理処理ルーチンとして示した。

- 5 次に、第2実施例で特徴的な商品の登録処理について説明する。(3)として示した商品登録の処理は、図21に示した商品登録処理ルーチンAを実行することにより行なわれる。このルーチンAは、第1の端末80から贈答希望商品を選択する胸をネットワークNWを介して受信したサーバS.V1が実行する処理であり、図3のステップS110の処理において、正規の登録者IDおよび登録者パスワードが入力されたと判断したときに起動される。
- 10

本ルーチンが起動されると、まず、サービス提供者によって作成された商品リストのデータを送信し、商品リストを表示する処理を行なう(ステップS400)。この商品リストは、サービス提供者が提供するメインのブラウザであるブラウザB1に表示される。この結果、第1の端末80のディスプレイ80bには、各種商品のイメージやスペックが記載された商品リストが、各商品を選択可能に表示される。

15

次に、ブラウザB1上において、リンク先であるネット販売者が提供する販売サイトに接続する旨の指示があったか否かを判断する処理を行なう(ステップS405)。リンク先への接続指示がないと判断した場合には、商品リストのキャンセルの有無および表示されている商品リストからの商品の選択の有無を判断する処理を行なう(ステップS410, ステップS415)。

20

25 商品リストから商品が選択された場合には、選択された商品をブラウザB1

上に一覧表示する処理を行なう（ステップS 4 2 0）。次に、商品選択のキャンセルの有無および選択された商品を登録する旨の指示の有無を判断する処理を行ない（ステップS 4 2 5, ステップS 4 3 0）、選択された商品を登録する旨の指示がなされたと判断した場合には、この指示に基づき、選択された

5 商品を贈答希望商品として登録する処理を行なう（ステップS 4 3 5）。

こうして、商品リスト中の商品を贈答希望商品として登録する処理を行なった後、ブラウザB 1 上での商品選択を終了する旨の指示がなされたか否かを判断する処理を行なう（ステップS 4 9 0）。この判断は、ステップS 4 1 0 の

10 処理において、商品リストからの商品選択がなされない場合や、ステップS 4 2 5 の処理において、既になされた商品選択をキャンセルする旨の指示がなされた場合にも行なわれる。ブラウザB 1 上での商品選択を終了する旨の指示がなされない場合には、ステップS 4 0 0 の処理に戻り、ブラウザB 1 に商品リストを再び表示し、上記の処理を繰り返す。ブラウザB 1 上での商品選択を終

15 了する旨の指示がなされた場合には、選択ないし登録された内容に基づいて贈答品リストを作成する処理を行ない（ステップS 4 9 5）、本ルーチンを終了する。

次に、商品リスト以外の商品を贈答希望商品として登録するための処理（ステップS 4 0 5～ステップS 4 8 0）について説明する。ステップS 4 0 5 の

20 処理において、リンク先であるネット販売者が提供する販売サイトに接続する旨の指示があったと判断した場合には、まず、第1の端末80にプラグインソフトPPがダウンロードされているか否かを判断する処理を行なう（ステップS 4 4 0）。このプラグインソフトPPには、リンク先のサイト内におけるア

25 ドレス等の情報を検出し、検出された情報をサーバSV1内の商品選択情報に

組み込むためのプログラムやデータが格納されている。プラグインソフト P P がダウンロードされていないと判断した場合には、ステップ S 4 0 5 の処理に戻り、ダウンロードすべき旨を警告する。

- 5 プラグインソフト P P がダウンロードされていると判断した場合には、ブラウザ B 1 とは別のブラウザとしてサブブラウザ B 2 を開き、このサブブラウザ B 2 にリンク先の販売サイトを表示する処理を行なう（ステップ S 4 4 5）。

- 次に、サブブラウザ B 2 上において、販売サイト内の商品が贈答希望商品として選択されたか否かを判断する処理を行なう（ステップ S 4 5 0）。この判断は、前述したプラグインソフトに格納されたプログラムによって実現される。即ち、プラグインソフトがダウンロードされることにより、第 1 の端末 8 0 には、販売サイト内の商品をギフトサービスシステムの贈答希望商品として登録するためのショートカットメニューが追加される。このショートカットメニューを用いて販売サイト内の商品が選択された場合に、該商品が贈答希望商品として選択されたものと判断する。この処理を実現するための具体的な操作については、後述する。
- 10 15

- 販売サイト内の商品が贈答希望商品として選択されたと判断した場合には、
- 20 選択された商品についての商品情報を取得するとともに、サブブラウザ B 2 とは別のブラウザである登録用ブラウザ B 3 を表示する処理を行なう（ステップ S 4 5 5）。選択された商品についての商品情報の取得は、マウスポインタの位置情報を利用して行なう。即ち、マウスポインタの位置と重なる位置にある画像やタブのプロパティの情報を、プラグインソフトの動作によって読み取り、
- 25 このプロパティの情報から画像やタブの URL を取得する。

勿論、これ以外の手法で商品情報を取得しても差し支えない。例えば、プロキシサーバー機能を実現するソフトやハードを利用して画像やタブのURLを取得することも可能である。また、第1の端末80において、選択しようとする商品に関する画像文字や写真の情報をサーバSV1にダウンロードする旨の指示を行なうこととしてもよい。この他、サブブラウザB2に表示されたページ上において、所望の商品が掲載されている範囲のスクリーンショットを撮り、このスクリーンショットをサーバSV1にダウンロードする旨の指示を行なうこととしてもよい。

10

登録用ブラウザB3には、贈答希望商品として選択された商品の品名や品番、価格等を記載する記載欄が設けられる。贈答希望商品としての登録を希望する場合には、上記の記載欄に必要事項を記入する。この登録用ブラウザB3の具体例については、後述する。なお、本実施例では、登録用ブラウザB3を表示する際、ブラウザB3内の所定の記載欄に、プラグインソフトの動作によって取得された画像やタブのURLを予め表示する構成を採る。

次に、商品選択のキャンセルの有無および選択された商品を登録する旨の指示の有無を判断する処理を行ない（ステップS460、ステップS465）、選択された商品を登録する旨の指示がなされたと判断した場合には、この指示に基づき、選択された商品を贈答希望商品として登録する処理を行ない（ステップS470）、登録用ブラウザB3を閉じる。

こうして、販売サイト中の商品を贈答希望商品として登録する処理を行なった後、ブラウザB2上での商品選択を終了する旨の指示がなされたか否かを判

25

- 断する処理を行なう（ステップS 4 8 0）。この処理は、ステップS 4 5 0の処理において、販売サイトにおける商品選択がなされない場合や、ステップS 4 6 0の処理において、既になされた商品選択をキャンセルする旨の指示がなされた場合にも行なわれる。ブラウザB 2上での商品選択を終了する旨の指示
- 5 がなされない場合には、ステップS 4 5 0の処理に戻り、商品を選択する旨の指示に備えてブラウザB 2を開いたままの状態として、上記の処理を繰り返す。

- ブラウザB 2上での商品選択を終了する旨の指示がなされた場合には、ブラウザB 2を閉じ、引き続きブラウザB 1上で商品選択が行なわれるか否かを判断する処理を行なう（ステップS 4 9 0）。ブラウザB 1上での商品選択を終了する旨の指示がなされた場合には、選択ないし登録された内容に基づいて贈答品リストを作成する処理を行ない（ステップS 4 9 5）、本ルーチンを終了する。
- 10

- 15 以上、ギフトサービスシステムの実現の際に実行される登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理について説明した。次に、上記の登録処理、贈答品指定処理のうち、特に商品の登録についての処理を、図2 2ないし図2 6参照しつつ、具体的に説明する。なお、必要に応じて第1実施例で説明した説明図も適宜参照する。

20

第1実施例の図9に示す案内画面上において、商品登録タブSRタブをクリックすると、ディスプレイ8 0 bには、図1 3に示すような商品登録のインデックスページが表示される。

- 25 このインデックスページにおいては、図1 3に示すように各種商品を「衣」,

「食」，「住」，「遊」という４つに分類するとともに、各分類に属する具体的な品名（例えば、「衣」という分類中においては、バッグ，時計，アクセサリ等）を表示している。この具体的な品名が表示された領域をマウス 80 e でクリックすることにより、当該品名に属する各種商品が表示される。

5

他の販売サイトを訪問し、商品の選択を続ける場合について説明する。第 1 実施例の図 1 2 に示したように、あらかじめ用意された画面で商品リストから商品を選択している場合には、画面上で「インデックス」というタブをクリックすると、図 1 3 に示したインデックスページが表示される。このインデックスページにおいて、「他モールの取扱品」というタブ Z E をクリックすると、図 2 2 に示すような、「甲モール」，「乙モール」，「丙モール」というインターネット上の他の販売サイトをリンク先として示す販売サイト案内画面が表示される。

15 この販売サイト案内画面（図 2 2）には、各モールの取り扱い商品を贈答希望商品として登録するために、前述したプラグインソフトを第 1 の端末 80 にダウンロードすることが必要な旨の案内が表示されている。この案内に従い、ダウンロード実行タブ Z D をクリックして、プラグインソフトのダウンロードを行なった後に、「甲モール」と表示されたタブをクリックすると、ディスプレイ 80 b 上に甲モールのホームページの情報が掲載されたサブブラウザ S D が表示される。

プラグインソフトのダウンロードを行なうことなく、「甲モール」，「乙モール」，「丙モール」というタブをクリックした場合には、ディスプレイ 80 b 上に、プラグインソフトのダウンロードを自動的に実行する旨と、このよう

25

な自動のダウンロードの許否を決定する「はい」および「いいえ」という選択タブが表示される。この後、「はい」という選択タブがクリックされることにより、プラグインソフトのダウンロードが実行される。

- 5 なお、上記プラグインソフトのダウンロード後は、販売サイト案内画面に表示された「甲モール」、「乙モール」、「丙モール」という販売サイトからだけでなく、これ以外の販売サイトから商品を選択し、贈答希望商品として登録することも可能である。
- 10 ディスプレイ 80b 上に甲モールのホームページの情報が掲載されたサブブラウザ SD の様子を、図 23 に示す。図 23 に示すように、サブブラウザ SD 内には、リンク先の販売サイト「甲モール」のホーム画面が表示される。このホーム画面上には、食品、家電・パソコン、旅行、楽器、金券という各品名が記された 5 つのタブが表示される。これらの販売商品には、例えば金券等の
- 15 ように、図 21 に示した商品リストのインデックスページにはない品名が含まれている。

- 図 23 に示すように、サブブラウザ SD は、メインブラウザ AD の上に重ねて表示される。従って、「甲モール」で所望の商品を見つけようとして、「甲
- 20 モール」の深い階層まで入った場合であっても、メインブラウザ AD は、販売サイト案内画面が表示されたままの状態で維持される。従って、「甲モール」での商品の探索後、メインブラウザ AD に簡単に戻ることができる。

- また、サブブラウザ SD は、図 23 に示すように、テキスト画面 TD の右側
- 25 の、「甲モール」、「乙モール」、「丙モール」と表示された各タブが隠れな

- い位置に表示される。従って、「甲モール」との接続後に、続いて「乙モール」や「丙モール」という他の販売サイトで商品を探そうとする場合に、「乙モール」, 「丙モール」と表示された各タブを一目で視認し、マウス 80 e で即座にクリックすることができる。他の販売サイトと接続の際に、サブブラウザ S
- 5 D がクリック動作の邪魔になるということがない。

- 図 2 3 に示すサブブラウザ S D 上のホーム画面において、品名が表示されたタブをマウス 80 e でクリックすると、当該品名に属する各種商品が表示される。ここで、「金券」という品名が表示されたタブをクリックしたものと
- 10 する。すると、ディスプレイ 80 b のサブブラウザ S D には、図 2 4 に示すような各種の金券を掲載したリストが表示される。このリストには、各種の金券について、外観を表す写真と、商品番号、品名、価格に関する情報が記載されている。

- 15 リスト上の商品を贈答希望商品としたい場合には、希望の商品の写真上にマウスポインタ M P を位置させる。図 2 4 におけるマウスポインタ M P の位置は、リスト上の「〇〇屋の商品券」を贈答希望商品とする場合の位置を示している。以下、「受領者 1」である特許太郎さんにより、贈答希望商品として「〇〇屋の商品券」が選択される場合を例として説明する。

20

- 「〇〇屋の商品券」の写真上にマウスポインタ M P を位置させた後、マウス 80 e の右クリックを行なうと、マウスポインタ M P の近傍に、図 2 4 に示すようなショートカットメニュー S K が表示される。このショートカットメニューには、ダウンロードされたプラグインソフトにより、「ギフト・レジストリ
- 25 ーへ登録」という選択肢が追加されている。このようなショートカットメニ

一SK上でマウス80eをスクロールして反転表示帯を「ギフト・レジストリ
ーへ登録」という選択肢に合わせた後に、左クリックを行なう。これにより、
「〇〇屋の商品券」が贈答希望商品として選択される。

- 5 こうした商品の選択の完了後、ディスプレイ80b上には、ショートカット
メニューSKに替えて、図25に示すような登録ブラウザRDが、メインブラ
ウザADおよびサブブラウザSDとは別に、メインブラウザADの上に重ねて
表示される。図25に示すように、登録ブラウザRD上には、「あなたが参照
しているサイトのURL」、「品番」、「品名」および「価格」という項目と
10 各項目に対応する記載欄が表示されている。

- このうち、「あなたが参照しているサイトのURL」という項目に対応する
記載欄には、登録ブラウザRDが開かれると同時に、贈答希望商品として選択
された商品（図25では〇〇屋の商品券）の写真画像のURL情報が表示され
15 る。このURL情報は、商品の選択の際、「〇〇屋の商品券」の写真上にマウ
スポインタMPを位置させてマウス80eを右クリックしたときに、前述した
プラグインソフトの作用によって取得されたものである。このように、贈答希
望商品を特定するURL情報を登録ブラウザRD上に自動的に表示すること
により、受領者の入力操作の負担を軽減することができる。

20

なお、受領者によって選択された商品についてのURL情報の自動取得は、
サービス提供者によって準備された商品リストから贈答希望商品が選択され
た場合においても、プラグインソフトのプログラムを所定のタイミングで実行
することにより行なわれる。

25

- このように贈答希望商品のURL情報が表示されれば、受領者は、登録ブラウザRD上で登録タブをクリックするだけで、贈答希望商品を登録することが可能となる。ただ、現実には、受領者によるマウスポインタMPの誤った位置指定や販売サイトの管理者によるURL情報の変更が行なわれる場合があり、
- 5 こうした場合には、受領者の意図した贈答希望商品を正しく特定することができなくなる。このような場合に対処し、第1実施例では、「品番」、「品名」および「価格」の各項目に対応する記載欄に、贈答希望商品として選択した商品の商品番号、品名、価格に関する情報を、受領者自らがキーボード80dを用いて入力することとしている。従って、図25に示す場合には、「〇〇屋の
- 10 商品券」の情報として、「品番」の記載欄に「KK001」と、「品名」の記載欄に「〇〇屋の商品券」と、「価格」の記載欄に「10000」という内容をそれぞれ記載する。

- こうした情報の記載後に、登録ブラウザRD上に表示された登録タブをクリックする。これにより、他の販売サイトの商品（上例の場合は、甲モールの〇〇屋の商品券）が、「受領者1」である特許太郎さんの贈答希望商品として登録される。この登録内容に基づいて、第1実施例で詳しく説明した贈答品リストが作成される。

- 20 なお、図25に示すように、登録ブラウザRDは、サブブラウザSDと重ならない位置に表示される。従って、贈答希望商品の登録を、自己が選択した商品の商品番号、品名、価格および写真を確認しながら間違いなくかつ速やかに行なうことが可能となる。登録ブラウザRDやサブブラウザSDを、登録ブラウザRDおよびサブブラウザSDの双方を視認可能な位置にいちいち移動させる必要がない。
- 25

上記した、受領者による「受領者登録」および「商品登録」が完了した後、受領者には、「ギフト・レジストリー」のホームページのアドレスと贈与者IDおよび贈与者パスワードが記載されたメッセージカードが郵送される。この
5 メッセージカードを贈与者に渡すことにより、贈与者によるゲストサイトへのアクセスが可能となる。その後の処理は、第1実施例と同一なので、簡略に説明する。

贈与者が第2の端末90を用いてサーバSV1にアクセスすると、ディスプレイ90bには、図6に示した初期画面が表示される。この初期画面上において、マウス90eによりゲストサイトタブGSをクリックすると、テキスト画面TDには、図16に示すようなゲストサイトの入口を示す画面が表示される。この画面において、正しい贈与者IDおよび贈与者パスワードが記入されてはじめて、ゲストサイトの中の情報にアクセスすることができる。贈与者IDおよび贈与者パスワードを、それぞれの記入欄に記入し、「GO」というタブを
15 クリックすると、図26に示す贈答品リストが表示される。

贈答品リストには、受領者が商品リストの中から選択した各商品についての情報が記載されている。図26に示す例では、受領者1である特許太郎さんによって選択された「C社リュック」,「〇〇屋の商品券」等の商品と、受領者
20 2である特許花子さんによって選択された「A社ハンドバッグ」等の商品について、参照サイトのURL,品番,品名および価格等の、贈答希望商品の登録の際に入力された情報が表示されている。参照サイトのURLが示されているのは、これらの商品が外部のモールなどで入手される商品だからである。

図 2 6 に示すように、贈答品リストには、はじめに受領者 1 の選択に係る商品が表示され、次に、受領者 2 の選択に係る商品が表示されている。このように、受領者に選択された商品を、受領者ごとにソートされた形態で表示することにより、贈与者は、意図する受領者に対する贈答品を、容易に選択することができる。

10

受領者によって多数の商品が選択されている場合には、図 2 6 に示す画面上で「NEXT」というタブをクリックすると、選択されている他の商品についての情報が表示される。

15

贈答品リストの右側には、「申込み」という欄および「申込状況」という欄が、選択された各商品ごとに設けられている。これらの扱いは第 1 実施例と同様である。従って、贈与者が、この画面で行なう処理についての説明は省略する。

20

贈与する商品についての登録が完了すると、登録された情報に基づいて、以後、「ギフト・レジストリー」のサービス提供者から贈与者に請求書が送付される。サービス提供者は、商品の代金が各贈与者によって支払われたことを確認し、この確認後に、商品を、贈与者からの贈答品として各受領者に送付する。なお、上例のように、1 の商品の代金が、複数の贈与者により分割して負担されるような場合には、全ての贈与者による代金の支払い完了後に、該商品を、各贈与者による共同の贈答品として受領者に送付する。

25

また、他の販売サイトの商品が贈答希望商品として登録された場合には、サービス提供者は、商品の代金を一時的に立て替え、登録された商品の URL 情

報や品番等に基づいて、ネット販売者から商品を購入しておく。この後、該商品について贈与者から申込みがあったときに、サービス提供者は贈与者に請求書を送付し、贈与者による代金の支払いの確認後に、商品を、贈与者からの贈答品として受領者に送付する。

5

以上説明した第2実施例のギフトサービスシステムによれば、お祝いなどの贈呈を受ける予定のある受領者は、第1実施例と同様に、自己の希望する商品を重複なく受け取ることが可能となることに加え、受け取る商品をネットワークNW上の他の販売サイトから幅広く選択することができるという独自の効果奏する。従って、より多種類の商品群から贈答希望商品を選ぶことが可能となり、お祝いを受け取る受領者の満足度をより高めることができる。

10

このように他の販売サイトの商品を贈答希望商品として申し込むことは、ギフトサービスシステムを経由せず、受領者が独立に他の販売サイトを訪問することによっては困難である。受領者は、選んだ商品の代金を支払う役割を果たさず、販売サイトは、通常、代金の支払いが確かでない場合には商品を販売しないからである。第1実施例のギフトサービスシステムによれば、このような「後で贈与者のうちの誰かが支払うから、商品を自分自身への贈答用として確保しておいて欲しい」という、他の販売サイトと受領者との間では実現が難しい要請を、円滑に実現することが出来る。

15

20

第2実施例のギフトサービスシステムによれば、受領者は、サービス提供者によって準備された商品および他の販売サイトの商品のいずれを選ぶ際にも、第1の端末80からサーバSV1, SV2にネットワークNWを通じてアクセスするだけでよい。受領者は、外出することなく、色々な商品を見て贈答希望

25

商品を選ぶことができる。

また、「ギフト・レジストリー」へのアクセス中に、他の販売サイトに一時的にジャンプし、他の販売サイトから選んだ商品を「ギフト・レジストリー」に即座に登録することができる。従って、受領者に煩雑な操作を強いることが
5 ない。また、サービス提供者は、他人の仕入れ（在庫、注文）を利用して、多数の商品を取り扱うことができる。従って、取扱い商品を増やすことで、新規の取引口座を多数開設する必要がなく、商品の在庫負担が大きく増えることもない。また、ネット販売者も、「ギフト・レジストリー」にリンクを張る
10 ことで、ギフト市場における需要を拡大することができる。

次に、第3実施例としてのギフトサービスシステムについて説明する。第3実施例のギフトサービスシステムは、図1に示したと同様のハードウェアを用いて実現されるが、ネット販売者が所有するサーバSV2に替えて、店頭販売
15 者がアクセスを行なう第3の端末70を用いる点で、第2実施例と異なる。即ち、サーバSV1は、第1の端末80および第3の端末70からの指示に基づいて登録処理を実行するとともに、第2の端末90からの指示に基づいて贈答品指定処理を実行し、第3の端末70からの指示に基づいて発送管理処理を実行する。

20

こうしたハードウェアを用いて実行される第3実施例のギフトサービスシステムの内容を、図27のブロック図に示す。図27に示すように、第2実施例のギフトサービスシステムは、（3）受領者による贈答希望商品の登録に際し、受領者が販売者が所有する店舗の店頭で商品を選択する点で、第2実施例
25 のギフトサービスシステムと異なる。即ち、（3-a）贈答品を受け取る予定

のある受領者は、サービス提供者と提携する販売者の店舗に出向き、該店舗において取り扱われている商品の中から所望の商品を贈答希望商品として選択し、選択が終了した旨を販売者に告知する。(3-b)告知された販売者は、第3の端末70を用い、受領者によって選択された商品を贈答希望商品として

5 登録者用のサイト上に登録する。なお、このサイト上への登録を、商品を選択した受領者自らが第1の端末80を用いて行なうものとしてもよい。

サーバSV1により実行される処理である登録処理、贈答品指定処理および発送管理処理の内容は、第1実施例において既述した図3ないし図5における

10 内容とほぼ同様である。ただし、商品登録処理(図3のステップS130)の内容が、第1実施例と異なっている。この第3実施例における商品登録処理の内容を、商品登録処理ルーチンBとして図28のフローチャートに示す。本ルーチンは、第3の端末70から贈答希望商品を登録する旨をネットワークNWを介して受信したサーバSV1が実行する処理であり、図3のステップS11

15 0の処理において、正規の登録者IDおよび登録者パスワードが第3の端末70から入力されたと判断したときに起動する。

本ルーチンが起動されると、まず、サービス提供者によって作成された商品リストのデータを送信し、商品リストを表示する処理を行なう(ステップS5

20 00)。次に、商品リストを表示した画面上で、提携する店舗販売者の取り扱い商品を登録する旨の指示があったか否かを判断する処理を行なう(ステップS505)。該指示がないと判断した場合には、ステップS505に戻って、上記処理を繰り返す。

25 該指示があったと判断した場合には、登録用フォームのデータを送信し、登

録用フォームを表示する処理を行ない（ステップS 5 1 0）、この登録用フォーム上に正規の販売者IDおよび販売者パスワードが入力されたか否かを判断する（ステップS 5 1 5）。この販売者IDおよび販売者パスワードは、商品を登録する主体が提携する店舗販売者であることを認証するためのものである。なお、登録用フォームには、販売者IDおよび販売者パスワードを記載する欄のほか、受領者によって選択された商品の品名、品番および価格を記載する欄が設けられている。この具体的な書式については後で説明する。

登録用フォーム上に正規でない販売者IDおよび販売者パスワードが入力されたと判断した場合には、認証されない旨を警告し、ステップS 5 0 0に戻って再び商品リストを表示する処理を行なう。この場合において、正規でない販売者IDおよび販売者パスワードが3回連続で入力された場合には、登録者のサイトとの接続を切断することも、非提携販売者による悪質な登録を防止する点で望ましい。

15

登録用フォーム上に正規の販売者IDおよび販売者パスワードが入力されていると判断した場合には、登録用フォームに記載された情報から受領者によって選択された商品を特定し（ステップS 5 3 0）、該商品を贈答希望商品として登録する処理を行なう（ステップS 5 3 5）。

20

こうして、提携販売者の取り扱い商品を贈答希望商品として登録する処理を行なった後、商品の登録を終了する旨の指示がなされたか否かを判断しする処理を行なう（ステップS 5 9 0）。商品の登録を終了する旨の指示がなされない場合には、ステップS 5 0 0の処理に戻って商品リストを再び表示し、上記の処理を繰り返す。商品の登録を終了する旨の指示がなされた場合には、登録

25

された内容に基づいて贈答品リストを作成する処理を行ない（ステップ S 5 9 5）、本ルーチンを終了する。

このような商品登録処理に基づき、第 3 実施例のギフトサービスシステムが
5 実際に提供される態様を、以下、具体的に説明する。会員登録を行なった受領者が、図 9 に示した案内画面上において、商品登録タブ S R タブをクリックすると、ディスプレイ 8 0 b には、図 1 3 に示したような商品登録のインデックスページが表示される。このインデックスページにおいて、「T 百貨店の取扱品」というタブ Z H をクリックすると、図 2 9 に示すような商品登録画面が表示
10 される。

図 2 9 に示すように、商品登録画面には、「ギフト・レジストリー」では T 百貨店と提携しており、受領者は、店頭で選んだ T 百貨店の取り扱い商品を贈答希望商品として登録することができる旨が記載されている。また、この記載
15 の下方には、T 百貨店による入力欄が設けられており、この入力欄には、販売者 I D および販売者パスワードを記載する欄のほか、受領者によって選択された商品の品名、品番および価格を記載する欄が設けられている。

商品登録画面の記載を読んだ受領者は、T 百貨店の店頭に出向いて現物やカタログ等で商品を確認し、気に入った商品を贈答希望商品として決定する。こ
20 の決定の旨を T 百貨店のサービスカウンターの係員に伝え、係員は、T 百貨店内に設置された第 3 の端末 7 0 用いてサーバ S V 1 にアクセスを行なう。これにより、第 3 の端末 7 0 のディスプレイ 7 0 b 上に図 6 と同様の「ギフト・レジストリー」の初期画面が表示される。この後、会員サイトタブ M R を
25 マウス 7 0 e でクリックして図 8 と同様の会員サイトの入口画面を表示し、受

領者から告げられた登録者IDおよび登録者パスワードIDを記入して「GO」というタブをクリックする。すると、図9と同様の案内画面が表示される。この案内画面上において、商品登録タブSRタブをクリックすると、ディスプレイ70bには、図21と同様の商品登録のインデックスページが表示される。

5

このインデックスページにおいて、「T百貨店の取扱品」というタブZHをクリックすると、図29と同様の商品登録画面がディスプレイ70b上に表示される。係員は、商品登録画面のT百貨店による入力欄に、T百貨店の販売者IDおよび販売者パスワード、受領者により贈答希望商品として選択された商品の品名、品番および価格を記載する。以下、「受領者1」である特許太郎さんにより、贈答希望商品として「品名：E社の急須セット、品番：KY01、価格：7000円」という商品が選択された場合を例として説明する。このような情報が記載されたときの商品登録画面の様子を図30に示した。

15 こうした情報の記載後に、「登録」と表示されたタブをマウス70eでクリックする。これにより、T百貨店の取り扱い商品（上例の場合は、E社の急須セット）が、「受領者1」である特許太郎さんの贈答希望商品として登録される。

20 この登録内容に基づいて、図31に示すような贈答品リストが作成される。第3実施例では、受領者1である特許太郎さんによって選択された「C社リュック」、「E社の急須セット」等の商品と、受領者2である特許花子さんによって選択された「A社ハンドバッグ」等の商品について、参照サイトのURL、品番、品名および価格等の、贈答希望商品の登録の際に入力された情報が表示

25 されている。なお、受領者が店頭に出向いて選んだ「E社の急須セット」とい

う商品については、参照サイトのURLの欄に「店頭」という文字が表示される。

贈与者は、第1，2実施例と同様に、この贈答品リスト中の商品から自己が
5 受領者への贈り物とすることを希望する商品を選び、申込欄のチェックボックスにチェックして、自己の負担額を登録する。このように登録された情報に基づいて、以後、「ギフト・レジストリー」のサービス提供者から贈与者に請求書が送付される。サービス提供者は、商品の代金が各贈与者によって支払われたことを確認し、この確認後に、商品を、贈与者からの贈答品として各受領者
10 に送付する。

以上説明した第3実施例のギフトサービスシステムによっても、お祝いなどの贈呈を受ける予定のある受領者は、自己の希望する商品を重複なく受け取ることが可能となることに加え、受け取る商品を、提携する店舗の取り扱い商品
15 から幅広く選択することができる。従って、より多種類の商品群から贈答希望商品を選ぶことが可能となり、お祝いを受け取る受領者の満足度をより高めることができる。

また、第3実施例のギフトサービスシステムによれば、受領者は、自己が受
20 け取る商品を、現物やカタログ等で実際に商品を確認したり、店員のアドバイスを聞いた上で決定することが可能である。従って、期待通りの品質の商品を受領することができる。また、大手の百貨店と提携した場合、サービス提供者は、他人の仕入れ（在庫，注文）のみならず、商品の保管能力や配送能力を利用することができる。従って、受領者による商品の選択から受領までの期間が
25 長い場合であっても、配送期日の柔軟な対応が可能となり、受領者の納品日に

関する個別事情に広く対応することができる。

以上本発明のいくつかの実施例について説明したが、本発明は、こうした実施例に限定されるものではなく、発明の要旨を逸脱しない範囲内において、
5 種々なる態様で実施可能である。例えば、忌明けのお返しのように一人の贈与者が、複数の受領者に各受領者が所望の商品を贈るといったシステムとしても運用することができる。この場合には、金額毎に複数の商品をサーバに登録しておき、金額毎に異なるパスワードを設定する。お返しを受ける人は、このパスワードでサーバに接続し、所望の商品を、複数の商品群から選択する。こう
10 した構成でも、上記実施例と同様、両者の意図を最大限活かした贈与の仲介を実現することができる。

なお、上記実施例では、贈与者IDおよび贈与者パスワードを入力することによって贈答品リストへのアクセスを許可する構成としたが、より容易に贈答
15 品リストへのアクセスを許可する構成としてもよい。例えば、贈与者ID若しくは贈与者パスワードのいずれか一方を認証する構成としてもよい。また、「贈与者によるメールアドレスの入力」を真摯な贈答の意思ある行為と推定し、メールアドレスが入力されたことをもって、贈答品リストへのアクセスを許可する構成としてもよい。

20

更に、上記第3実施例では、贈与を受けたい商品を予め登録するものとしたが、例えば特定の百貨店などのフロアを特定し、そのフロアの全商品を対象として、これを登録したものと同様に扱うものとするといった態様も可能である。贈与しようとする者は、その百貨店の展示フロアに出かけ、その場で商品を選
25 択すると、例えば商品に貼付されたタグのバーコードを用いて直ちにサーバに

アクセスし、その商品が既に同じ受領者宛に送られようとしていないか、チェックするものとすればよい。

産業上の利用分野

- 5 本発明は、商品の贈答などを効率的に行なうことができ、商品を提供する製造業、商品を販売する小売業、これをネットワークを介して仲介する仲介業、などの産業において利用することができる。

請求の範囲

1. サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスを行ない、該ネットワークを介して行なわれる贈与
5 を仲介する贈与仲介システムであって、
 贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に予め登録する第1の記憶手段と、
 贈与を行なう者をネットワーク上で認識可能なパスワードを記憶する第2
 の記憶手段と、
10 前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記第1の記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可する許可手段と、
 該許可を受けたアクセスにより、前記データ蓄積手段に、贈与を受けようと
15 する一以上の商品を登録する商品登録手段と、
 該登録した商品を、前記第2の記憶手段に記憶されたパスワードを用いた前記ネットワークを介したアクセスに対して参照可能とする商品参照手段と
 を備えた贈与仲介システム。
2. 前記第1の記憶手段は、2以上の者についての前記情報を、単一の個人
20 情報と共に記憶する手段を備える請求の範囲第1項記載の贈与仲介システム。
3. 請求の範囲第1項記載の贈与仲介システムであって、
 前記第1の記憶手段は、
 贈与を受けるイベントの種類を登録するイベント登録手段と、
25 該イベント登録手段に登録されたイベントの種類が、婚約、結婚など複数

人に関与するイベントとして予め登録されたものに該当する場合には、該複数人についての前記情報を、単一の前記個人情報と共に記憶する手段とを備えた贈与仲介システム。

4. 請求の範囲第1項ないし第3項記載のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

前記贈与を行なう者のアドレスを登録するアドレス登録手段と、

前記商品登録手段による登録の終了後に、前記アドレス登録手段に登録されたアドレスに、前記パスワードを含む前記データ蓄積手段へのアクセス方法に関する情報を通知する通知手段と

- 10 を備えた贈与仲介システム。

5. 請求の範囲第1項ないし第4項のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

前記商品登録手段は、

複数の商品に関する情報を個別に予め記憶した商品情報記憶手段と、

- 15 該商品情報記憶手段に記憶された複数の商品のうちの一以上を特定する商品特定手段と、

該商品特定手段により特定された一以上の商品を、一覧的に画面表示する一覧画面表示手段と

を備えた贈与仲介システム。

- 20 6. 請求の範囲第5項記載の贈与仲介システムであって、

前記商品情報記憶手段は、前記商品情報記憶手段に、前記商品を予めそのカテゴリと共に記憶しており、商品特定手段による商品の特定に際して、該カテゴリ別に分類した状態で、当該記憶された商品の情報を表示する手段を備えた贈与知勇会システム。

- 25 7. 請求の範囲第5項または第6項記載の贈与仲介システムであって、

前記商品情報記憶手段は、少なくとも、該商品の値段に関する情報と、当該商品の外観写真を記憶しており、

前記一覧画面表示手段は、前記外観写真を、拡大表示可能に表示する贈与仲介システム。

- 5 8. 請求の範囲第1項ないし第4項のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

前記商品登録手段は、

商品に関する情報を、前記ネットワーク上の他のデータ蓄積手段から、該蓄積手段を特定する情報と共に取得する商品情報取得手段と、

- 10 該商品情報取得手段により取得された商品に関する情報のうち、少なくとも値段に関する情報と、前記データ蓄積手段を特定する情報とを取り出し、一覧的に画面表示する一覧画面表示手段と

を備えた贈与仲介システム。

9. 請求の範囲第5項または第8項記載の贈与仲介システムであって、

- 15 前記一覧画面表示手段は、前記登録された商品の削除を指示する削除ボタンを表示する手段を有する贈与仲介システム。

10. 請求の範囲第1項ないし第9項のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

- 20 前記パスワードを用いたアクセスに対して、前記商品登録手段により登録された商品を、一覧的に画面表示する表示手段と、

該表示された商品について個別にその代金の負担の申し込みを受け付ける申込手段と、

該申し込まれた商品を、申し込み済みとして表示する申し込み済み表示手段と

- 25 を備えた贈与仲介システム。

11. 請求の範囲第10項記載の贈与仲介システムであって、

前記申込手段は、前記パスワードを用いたアクセスに対して、前記表示手段により表示された前記商品の金額に対して、該金額の一部の負担を指定可能とする一部負担申込手段を備え、更に

- 5 該一部負担が申し込まれた商品について、申し込まれた負担部分の合計を表示する負担部分表示手段と
- を備えた贈与仲介システム。

12. 請求の範囲第10項または第11項記載の贈与仲介システムであって、

- 10 前記申込手段により申し込まれた商品の代金の支払いを、該申し込みを行なった者に求める支払い請求手段を備えた贈与仲介システム。

13. 請求の範囲第10項ないし第12項のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

- 前記ネットワークを介したアクセスが前記許可手段により許可されたとき、
- 15 前記商品登録手段によって登録された商品を一覧的に画面表示すると共に、申し込み済みの商品については、前記申し込みを行なった者を特定する情報を併せて表示する詳細情報表示手段を備えた贈与仲介システム。

14. 請求の範囲第10項ないし第13項のいずれか記載の贈与仲介システムであって、

- 20 前記データ蓄積手段へのアクセスの期限を記憶する期限記憶手段と、
- 該期限の経過を判定する期限経過判定手段と、
- 該期限が経過したとき、前記申し込みの行なわれた商品についての情報を、前記商品の登録を行なった者に通知する通知手段と
- を備えた贈与仲介システム。

- 25 15. 請求の範囲第14項記載の贈与仲介システムであって、

前記第1の記憶手段は、前記贈与を受けようとする者についての情報として、当該者の現住所の他に、前記申し込み済みの商品の配達先を登録する手段を有する贈与仲介システム。

16. サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスして行なわれる贈与を仲介する贈与仲介方法であって、

贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に、前記サーバの所定の記憶手段に予め登録し、

贈与を行なう者をネットワーク上で認識可能なパスワードを、前記サーバの記憶手段に記憶し、

前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可し、

15 該許可を受けたアクセスにより、前記データ蓄積手段に、贈与を受けようとする一以上の商品を登録し、

該登録した商品を、前記記憶手段に記憶されたパスワードを用いた前記ネットワークを介したアクセスに対して参照可能とする

贈与仲介方法。

20 17. サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスを行ない、該ネットワークを介して行なわれる贈与を仲介する贈与仲介システムであって、

贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に予め登録する記憶手段と、

25 贈与を行なう者をネットワーク上で認証する認証手段と、

前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可する第1の許可手段と、

- 5 該許可手段による許可を受けたアクセスの後、前記データ蓄積手段に蓄積されたデータ以外の商品に関する情報に基づいて贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該指定された商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録する商品登録手段と、

- 10 該登録した商品を、前記認証手段によりネットワーク上で認証されたアクセスに対して参照可能とする商品参照手段と

を備えた

贈与仲介システム。

18. 請求の範囲第17項に記載の贈与仲介システムであって、

- 15 前記データ蓄積手段への許可を受けたアクセス後に、該データ蓄積手段とネットワークを介して連結された他のデータ蓄積手段へのアクセスを許可する第2の許可手段と、

前記他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報を、所定の指示に基づいて取得する商品情報取得手段とを備え、

- 20 前記商品登録手段は、該商品情報取得手段により取得された情報に基づいて前記贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録する手段である

贈与仲介システム。

19. 前記商品情報取得手段は、前記商品に関する情報として、該商品の品名や品番等の該商品自体に関する情報に加えて、前記他のデータ蓄積手段内
25 において前記商品に関する情報が格納されるアドレスの情報を取得する手段

である請求の範囲第 18 項に記載の贈与仲介システム。

20. 請求の範囲第 18 項または第 19 項に記載の贈与仲介システムであって、

前記データ蓄積手段は、前記データとして、商品に関する情報を予め蓄積する手段であり、

前記商品情報取得手段は、該データ蓄積手段に蓄積された商品に関する情報および前記他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報の双方を取得可能な手段であり、

前記商品登録手段は、該商品情報取得手段により取得された前記双方の情報を、前記データ蓄積手段内の共通のリスト上に登録する手段である

贈与仲介システム。

21. 前記データ蓄積手段内の共通のリスト上に登録された情報を、一覧的に画面表示する表示手段を備えた請求の範囲第 20 項に記載の贈与仲介システム。

22. 前記商品登録手段によって情報が登録された商品の代金を、前記データ蓄積手段を管理するサーバと前記他のデータ蓄積手段を管理するサーバとの間で、ネットワークを介して決済する決済手段を備えた請求の範囲第 18 項ないし第 21 項のいずれかに記載の贈与仲介システム。

23. 請求の範囲第 17 項に記載の贈与仲介システムであって、

前記データ蓄積手段にネットワークを介してアクセス可能な端末を、商品を販売する店舗に配置し、

前記商品登録手段は、前記端末からの許可を受けたアクセスの後、前記贈与を受ける者が該店舗で確認した商品の情報に基づいて、前記贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、該商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録

する手段である

贈与仲介システム。

24. サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段に、ネットワークを介してアクセスして行なわれる贈与を仲介する贈与仲介方法であって、

- 5 贈与を受ける者についての情報を、ネットワーク上で特定可能な個人情報と共に、前記サーバの所定の記憶手段に予め登録し、

贈与を行なう者をネットワーク上で認証し、

- 前記ネットワークを介したアクセスがあったとき、前記個人情報の認証を行ない、前記記憶手段に登録された個人情報の少なくとも一部との対応が認定された場合には、前記ネットワークを介した前記データ蓄積手段へのアクセスを許可し、
- 10

該許可を受けたアクセスの後、前記データ蓄積手段に蓄積されたデータ以外の商品に関する情報に基づいて贈与を受けようとする一以上の商品を指定し、

該指定された商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録し、

- 15 該登録した商品を、前記ネットワーク上で認証されたアクセスに対して参照可能とする

贈与仲介方法。

25. サーバ上に設けられ所定のデータを蓄積するデータ蓄積手段にネットワークを介してアクセスを行ない、該データ蓄積手段に贈与を受けようとする商品を登録するプログラムを、コンピュータに読み取り可能に記録した記録媒体であって、
- 20

前記データ蓄積手段以外の他のデータ蓄積手段にアクセスされた場合に、該他のデータ蓄積手段に格納された商品に関する情報を、所定の指示に基づいて取得する機能と、

- 25 該取得された情報に基づいて前記贈与を受けようとする一以上の商品を指

定し、該商品に関する情報を前記データ蓄積手段に登録する機能と
を記録した記録媒体。

1/31

図1

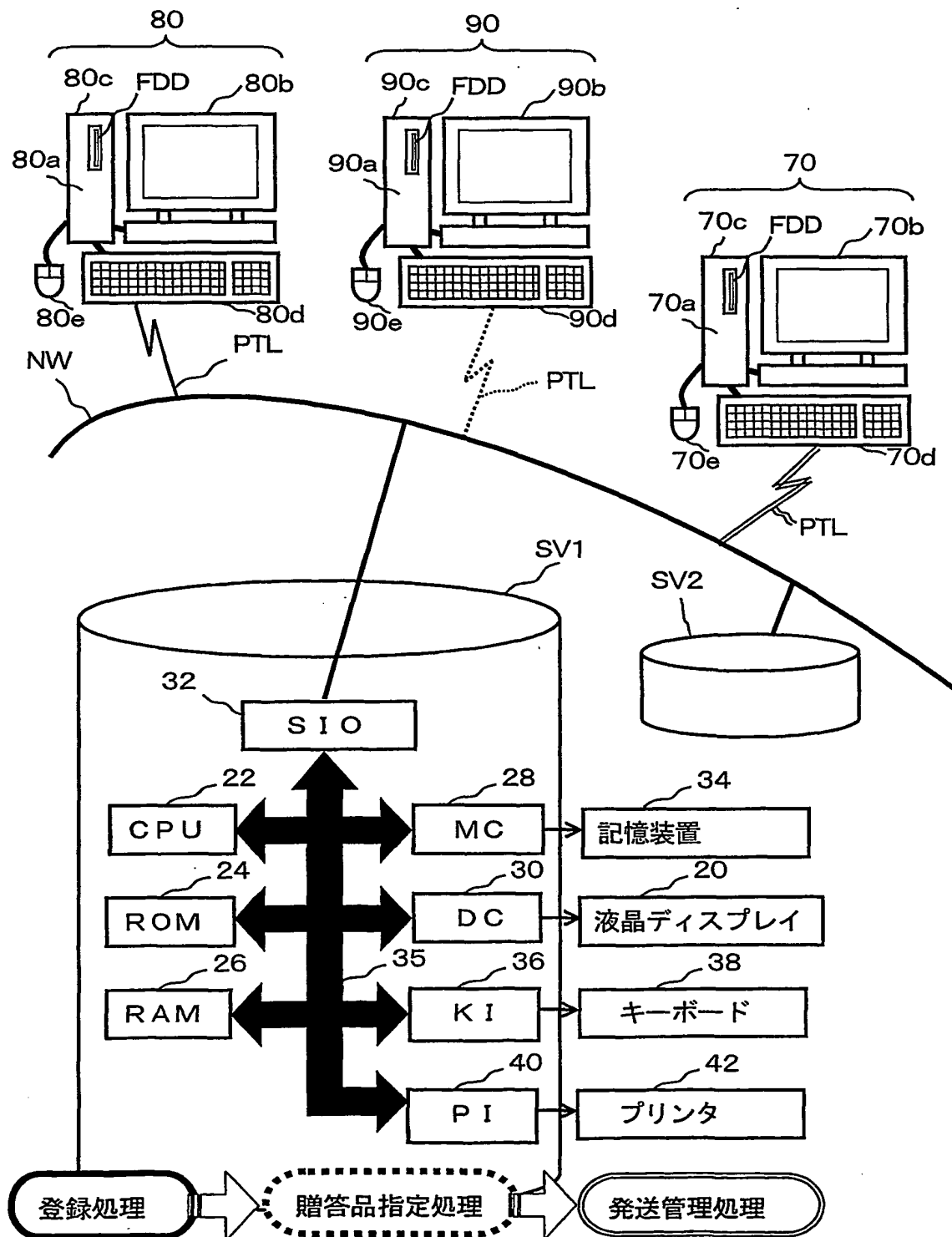
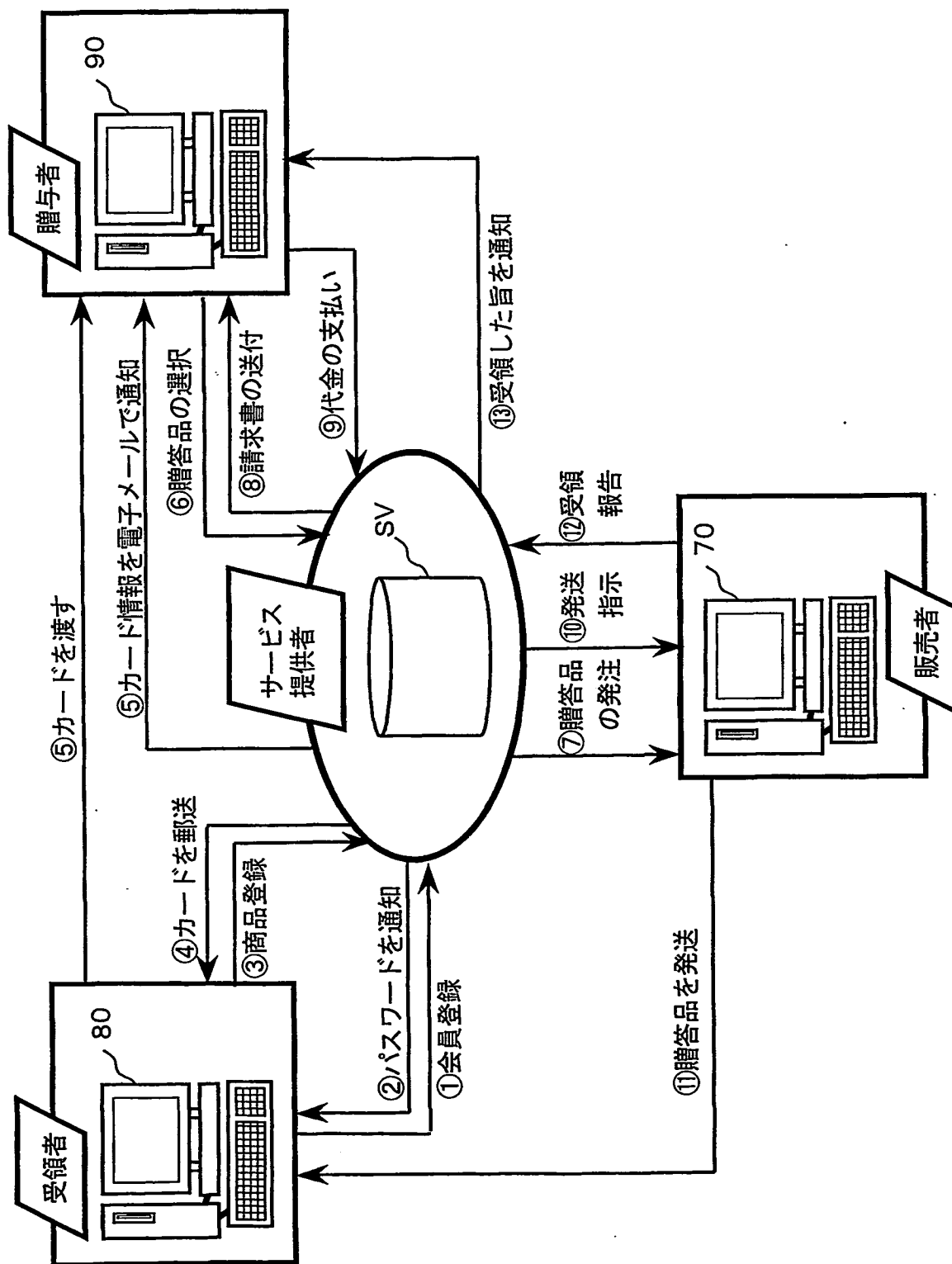
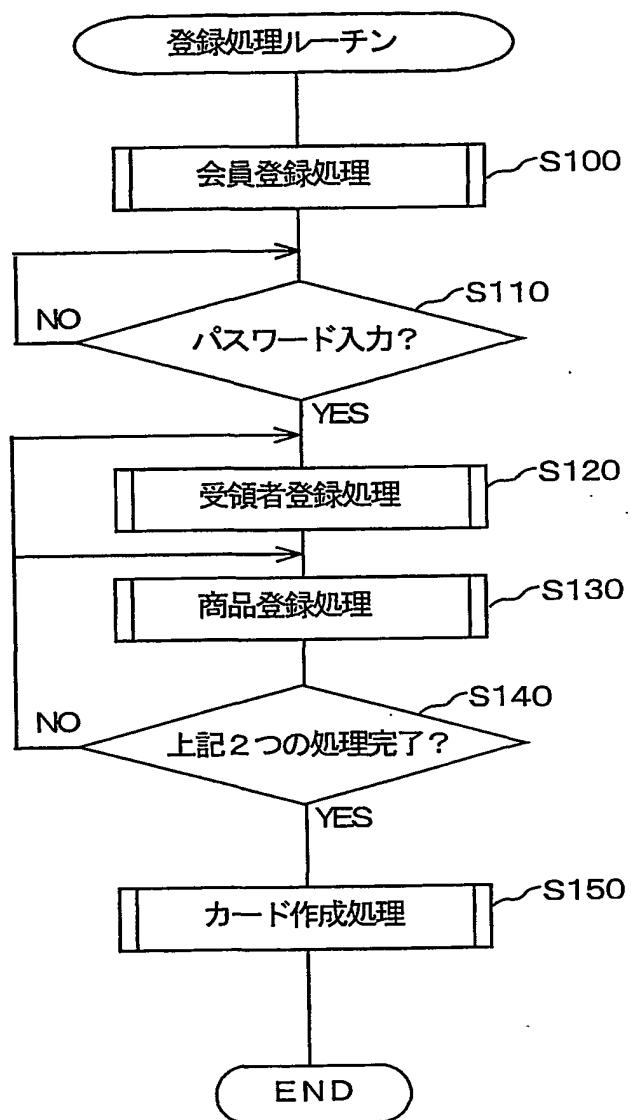


図2



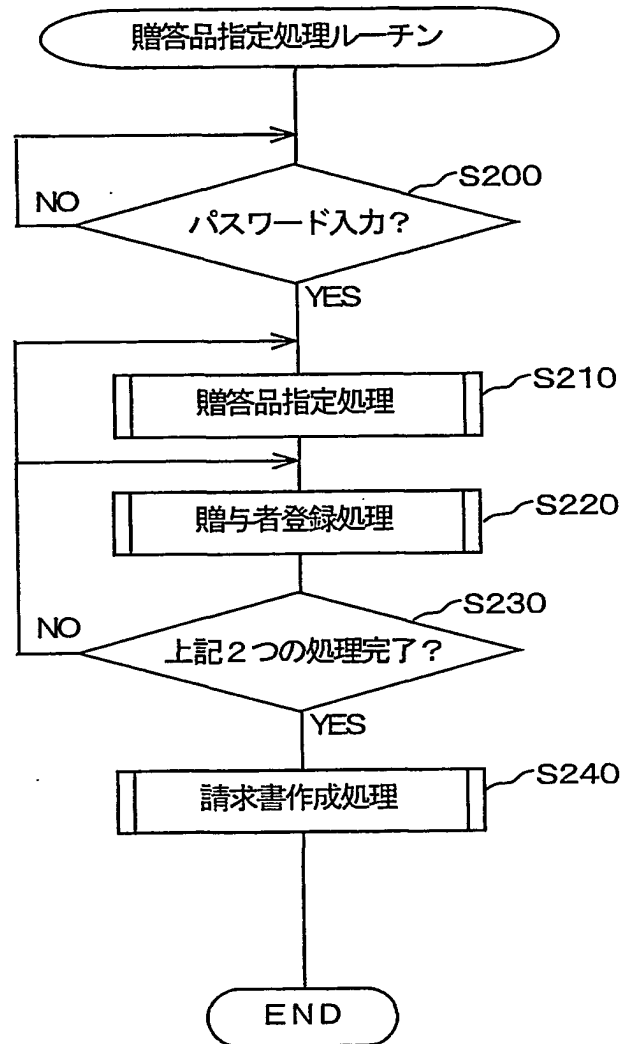
3/31

図3



4/31

図4



5/31

図5

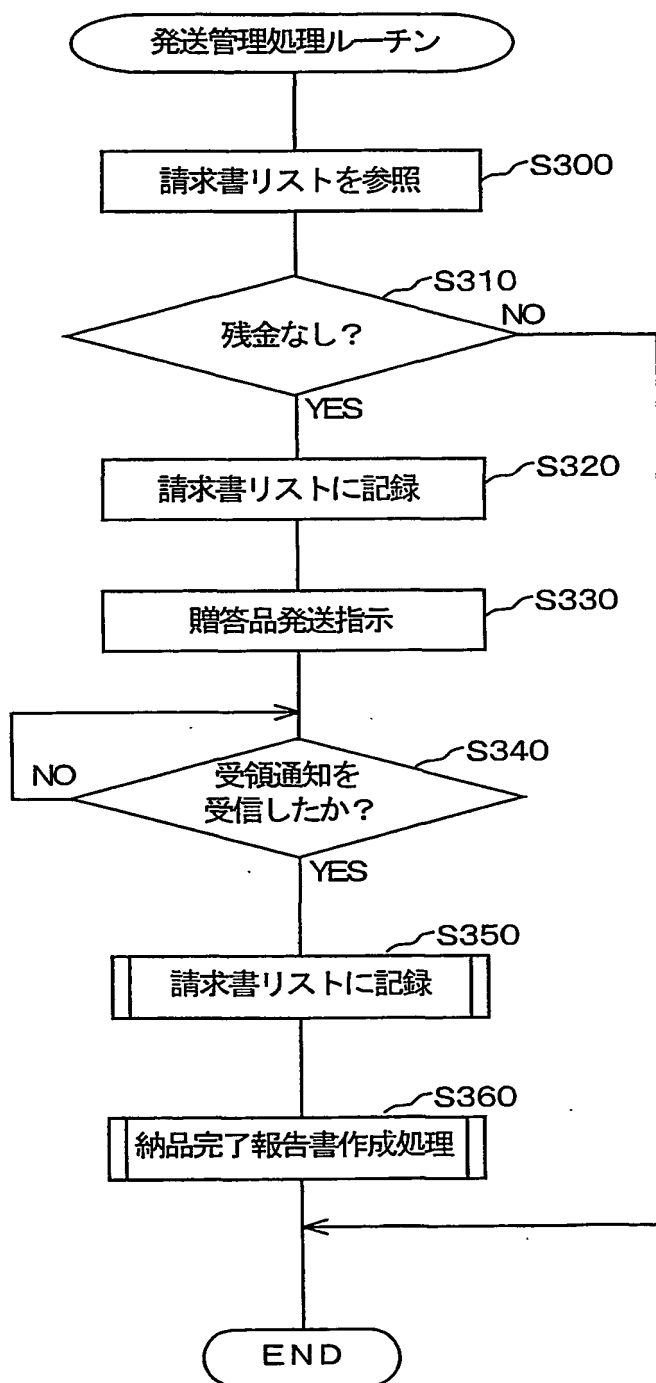


図6

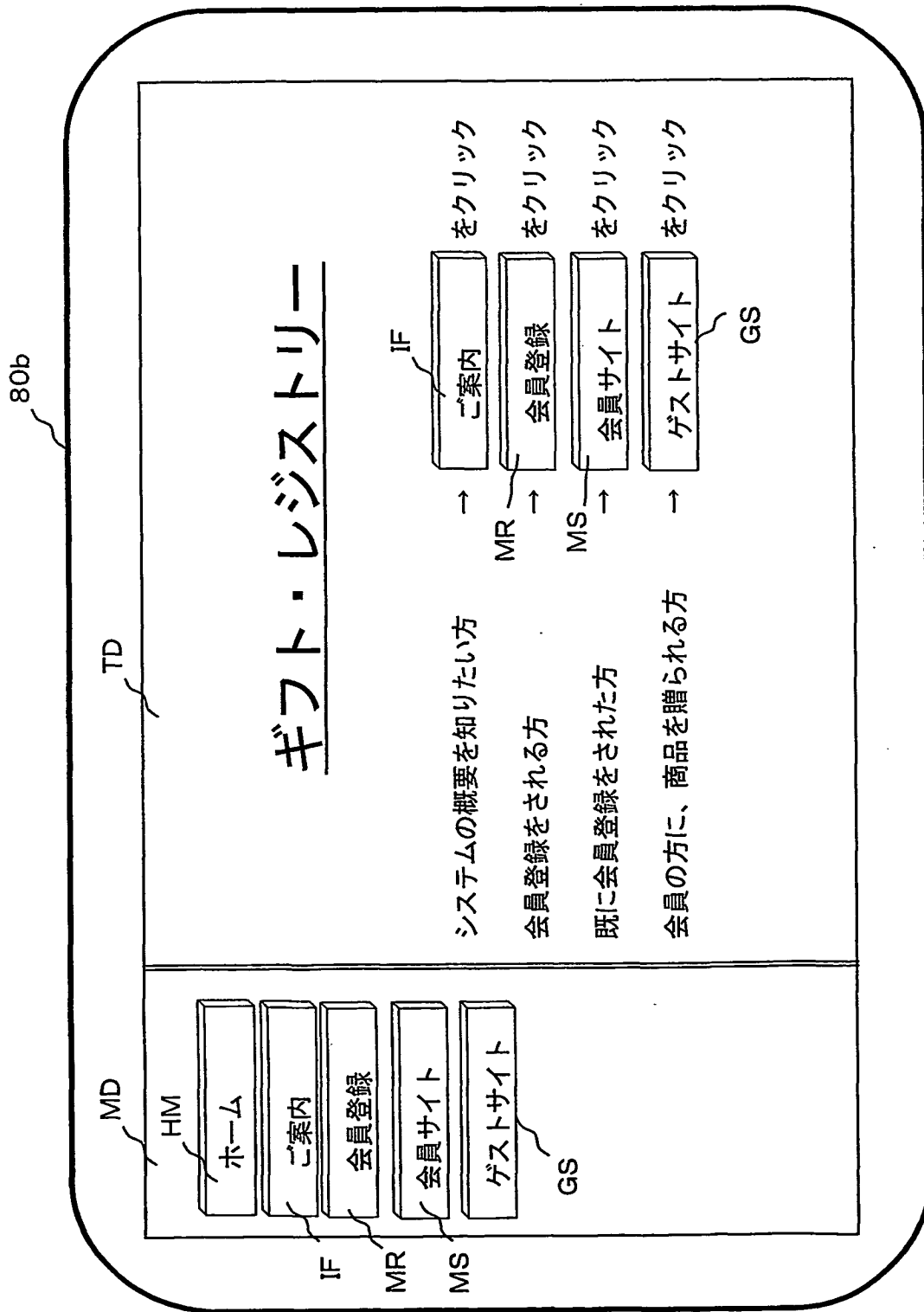


図7

80b

MD

HM

ホーム

IF

ご案内

会員登録

MR

会員サイト

MS

ゲストサイト

GS

TD

会員登録 (ホスト・レジストリー)

あなたについて、下記項目を入力し、

登録

をクリックして下さい

氏名

郵便番号

現住所

電話番号

メールアドレス

ご利用用途

コメント

登録

RE

RE

☐ 婚礼

☐ 出産

☐ 誕生日

☐ その他

8/31

図 8

80b

MD

HM

ホーム

ご案内

IF

会員登録

MR

会員サイト

MS

ゲストサイト

GS

TD

会員登録 (ホスト・レジストリー)

あなたについて、下記項目を入力し、をクリックして下さい

氏名 RE

郵便番号

現住所

電話番号

メールアドレス

ご利用用途 ☒ 婚礼 ☐ 出産 ☐ 誕生日 ☐ その他

コメント

図9

80b

MD

HM
ホーム

IF
ご案内

MR
会員登録

MS
会員サイト

GS
ゲストサイト

TD

ギフト・レジストリー会員として登録されました。
登録内容は、以下の通りです。

氏名	特許太郎	メールアドレス	****@****.or.jp
郵便番号	100-8915	ご利用用途	婚礼
現住所	千代田区霞ヶ関 3-4-3		
電話番号	03-****-****	コメント	

ID 特許太郎
パスワード 1234abcd

上記内容で正しければ、

上記内容に誤りがある場合は、

OK

修正

OK

修正

図10

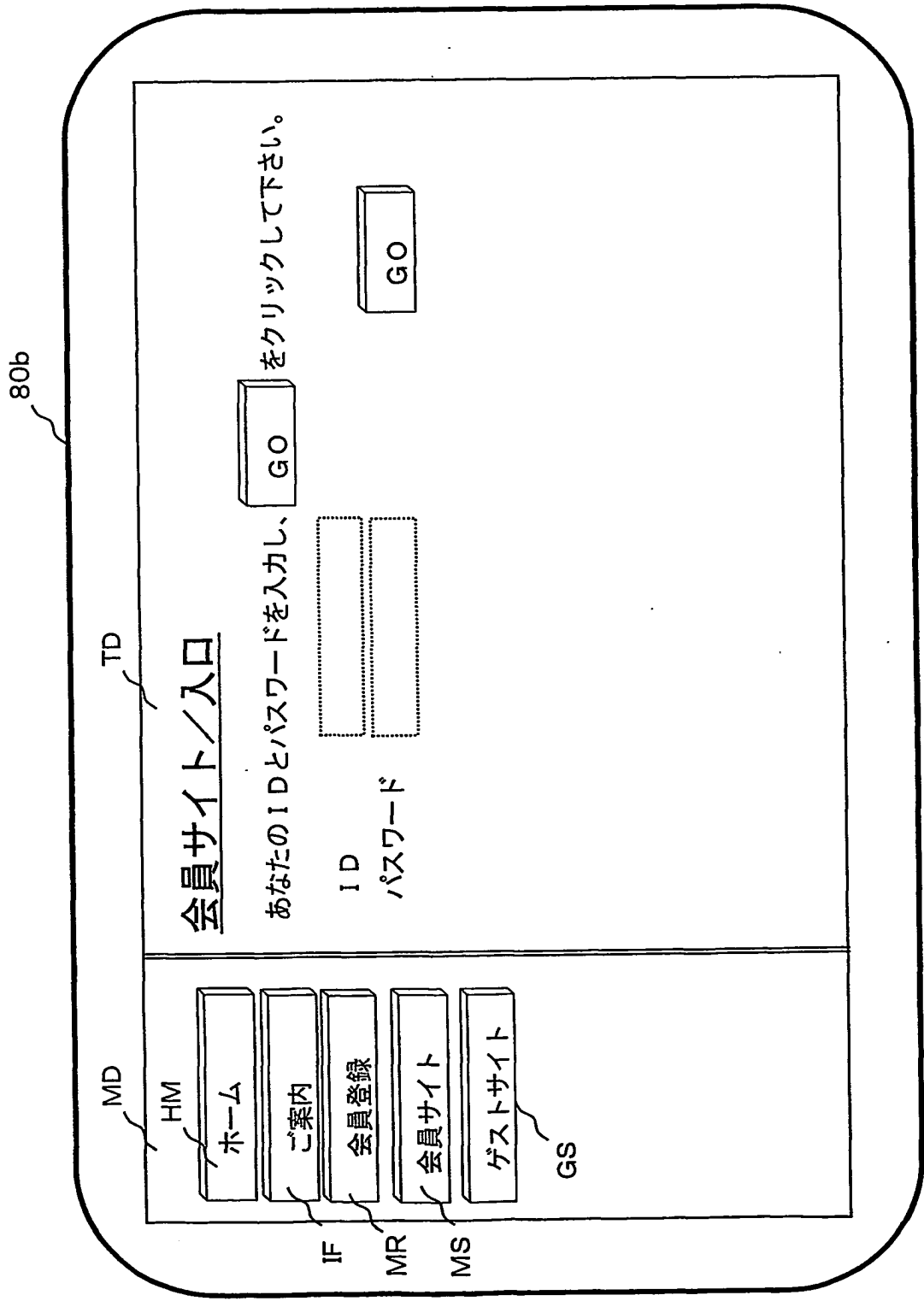
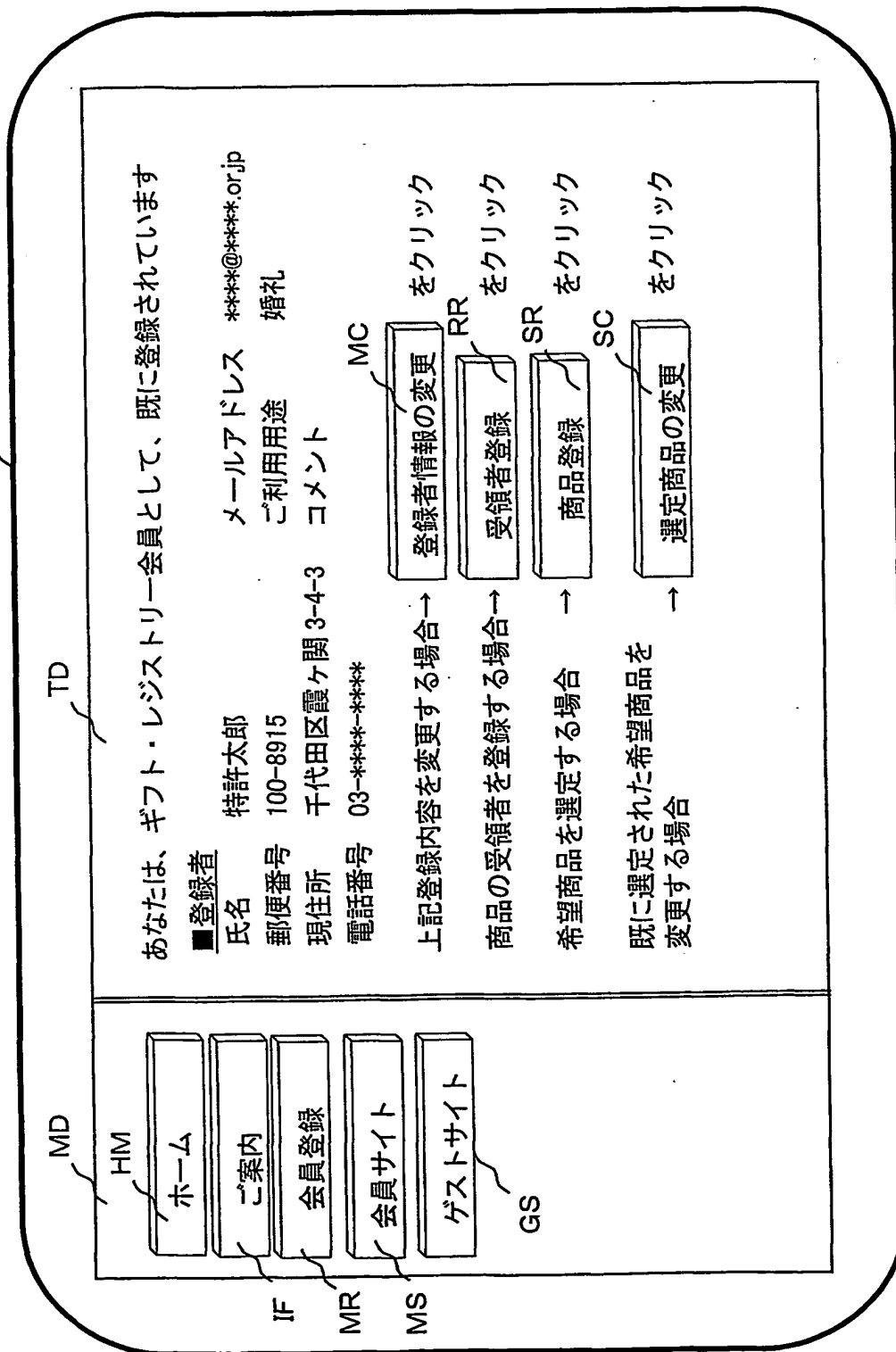


図 11

80b



12/31

図12

80b

MD

HM

ホーム

ご案内

会員登録

IF

MR

MS

会員サイト

ゲストサイト

GS

TD

会員サイト／受領者の登録

受取人について、下記項目を入力し、登録をクリックして下さい

■受領者1

リセット

氏名 特許太郎

郵便番号 100-8915

お届け先住所 千代田区...

電話番号 03-****-****

メールアドレス ****@****.or.jp

ゲスト予定人数

■受領者2

リセット

氏名

郵便番号

お届け先住所

電話番号

メールアドレス

ゲスト予定人数

登録

RE1

1つ前へ戻る

図13

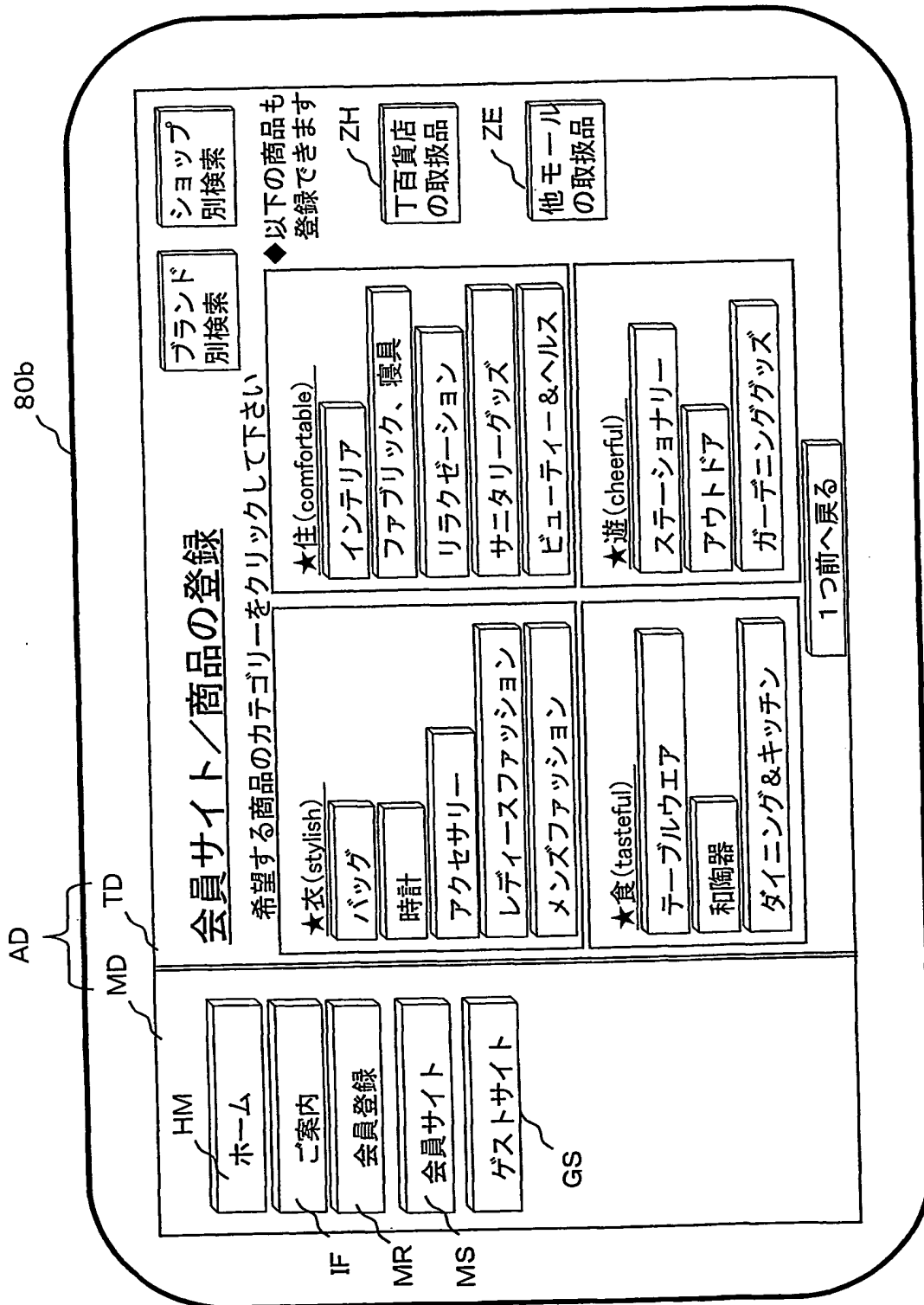


図14

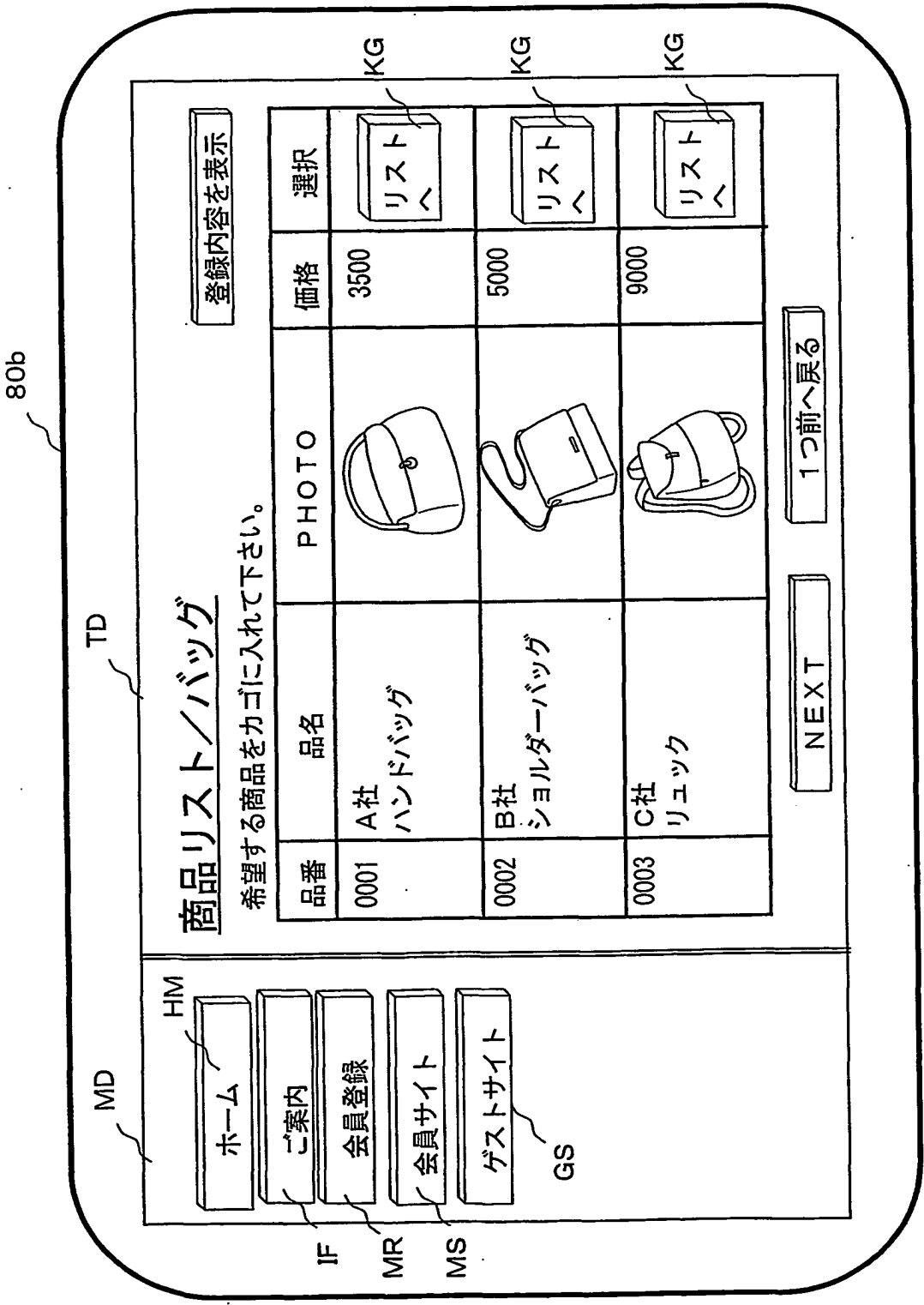


図15

80b

MD

HM

ホーム

ご案内

IF

会員登録

MR

会員サイト

MS

ゲストサイト

GS

TD

選択された商品の一欄

現在、下記の商品が選択されています。
受取人を数字で入力して下さい。

品番	品名	数量	単価	小計	受領者	キャンセル
0001	A社ハンドバッグ	1	3500	3500		削除
0003	C社リュック	1	9000	9000		削除
税別合計				12500		
総合計				13125		

ES

ES

RE2

更に選択

受領者別一欄

登録

1つ前へ戻る

図16

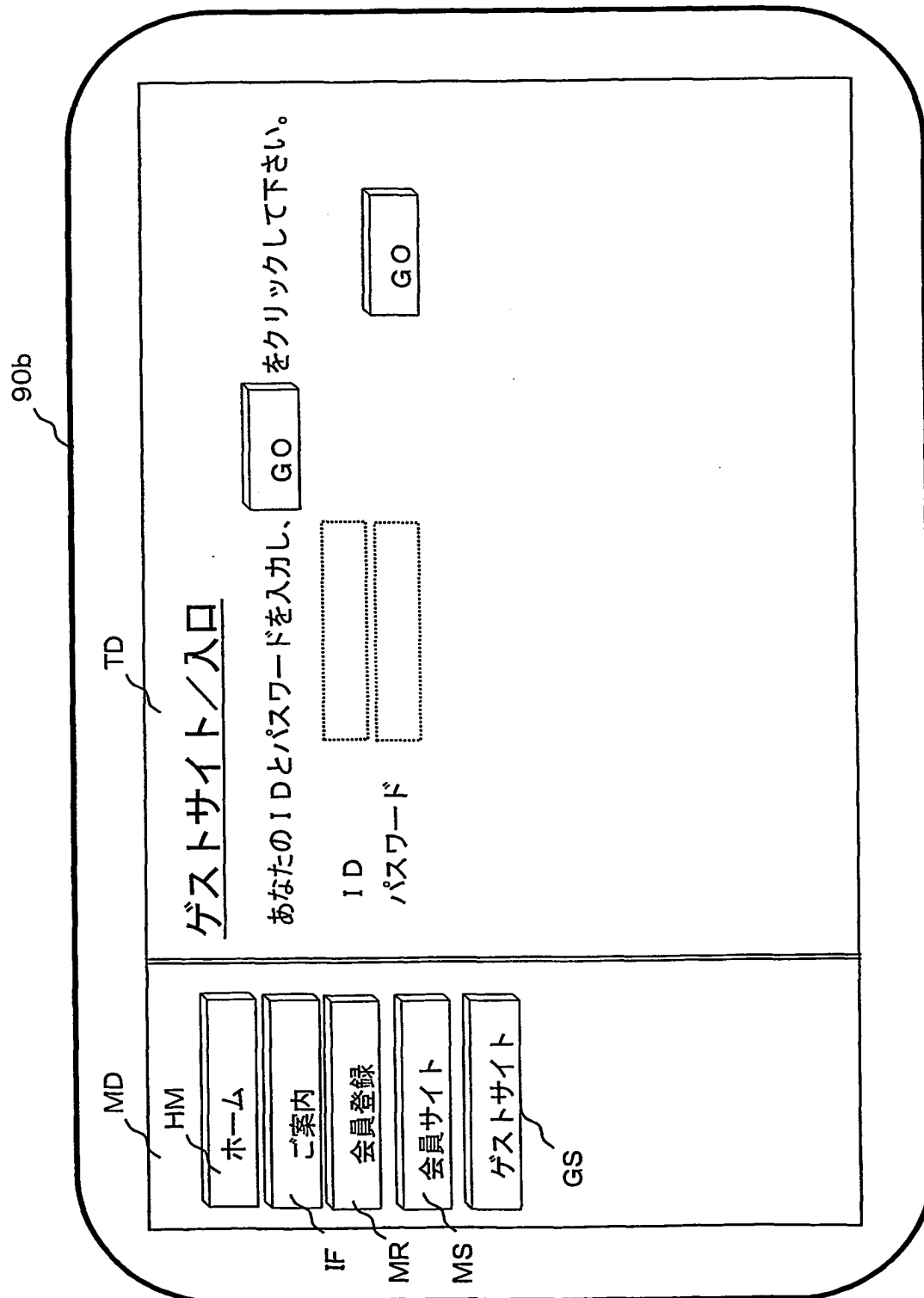


図 17

90b

MD

HM

IF

MR

MS

GS

ホーム

ご案内

会員登録



会員サイト

ゲストサイト

TD

贈答品リスト

下記商品が、(受領者1)様、(受領者2)様により選ばれた商品です。
あなたがプレゼントとしたい商品を下記商品の中から選び、申込み欄に
チェックして下さい。

受領者	品番	品名	PHOTO	価格	申込み			申込状況
					全額	1/2	1/4	
1	0003	C社 リュック		9000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3/4 済
1	⋮	⋮						
2	0001	A社 ハンド バッグ		3500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	済
2	⋮	⋮						

NEXT

1つ前へ戻る

選択完了

図 18

90b

MD

HM

ホーム

ご案内

IF

会員登録

MR

会員サイト

MS

ゲストサイト

GS

TD

贈られる商品の一覧

あなたがプレゼントする商品およびお支払い額は、以下の通りです。

品番	品名	受領者	価格	負担割合	負担額	キャンセル
0003	C社リュック	1	9000	1/4	2250	削除
税別合計						
支払額総合計						

上記内容でよろしければ、あなたについて下記項目を入力し、
購入 をクリックして下さい

郵便番号

住所

氏名

電話番号

メールアドレス

リセット

購入

更に選択

1つ前へ戻る

PC

図 19

80b

MD

HM

ホーム

ご案内

会員登録

会員サイト



ゲストサイト

GS

TD

会員サイト／選定商品リスト

下表の申込状況が「済」の商品（一部済の商品を含む）は、削除することができませんので、ご注意ください。

受取人	品番	品名	PHOTO	価格	申込状況	備考
1	0003	C社 リュック		9000	3/4 済	X様 1/2 Y様 1/4
1	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
2	0001	A社 ハンド バッグ		3500	済	Z様 全額
2	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

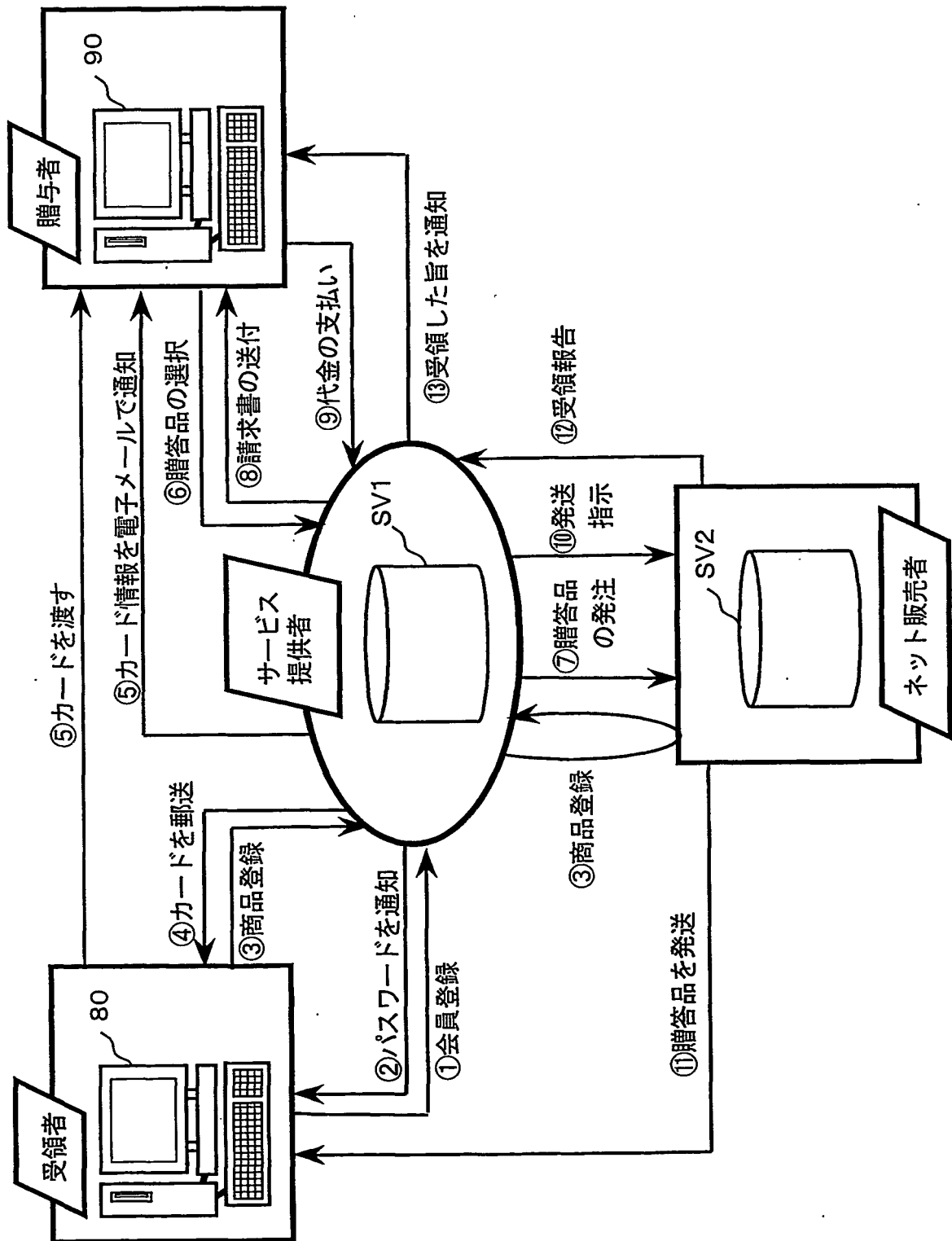
NEXT

商品の削除

商品の追加

1つ前へ戻る

図20



21/31

図21

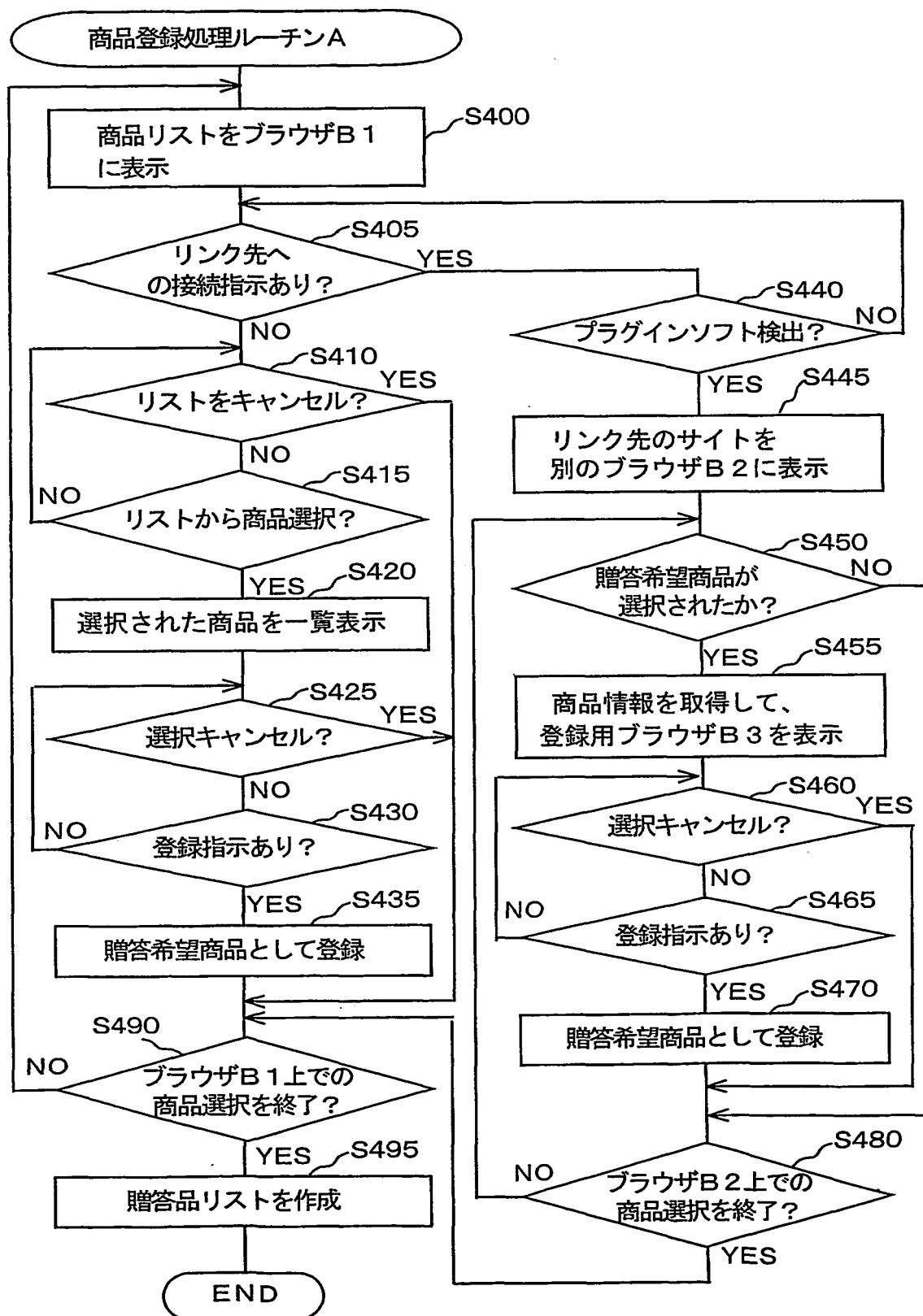


図22

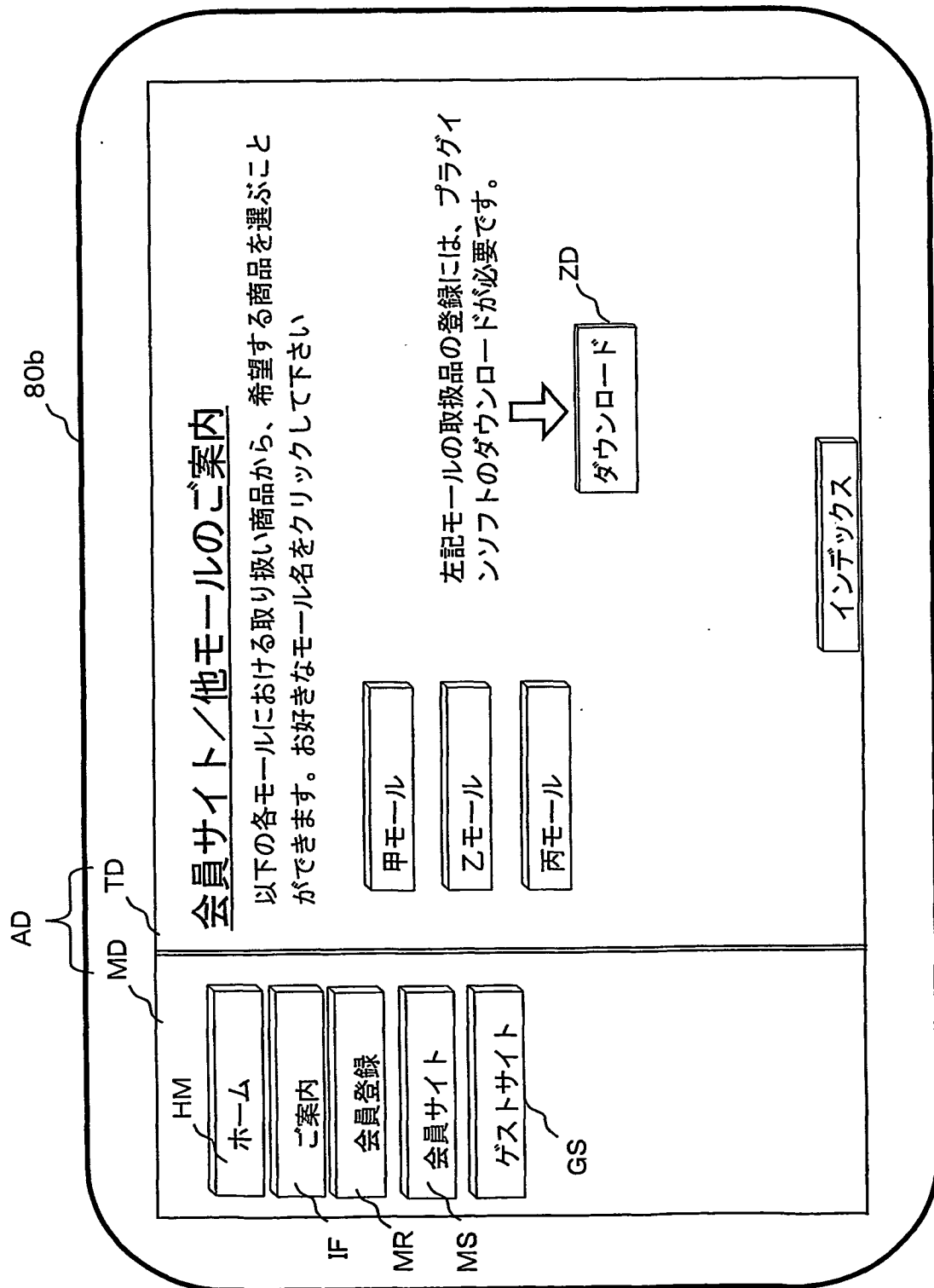


図23

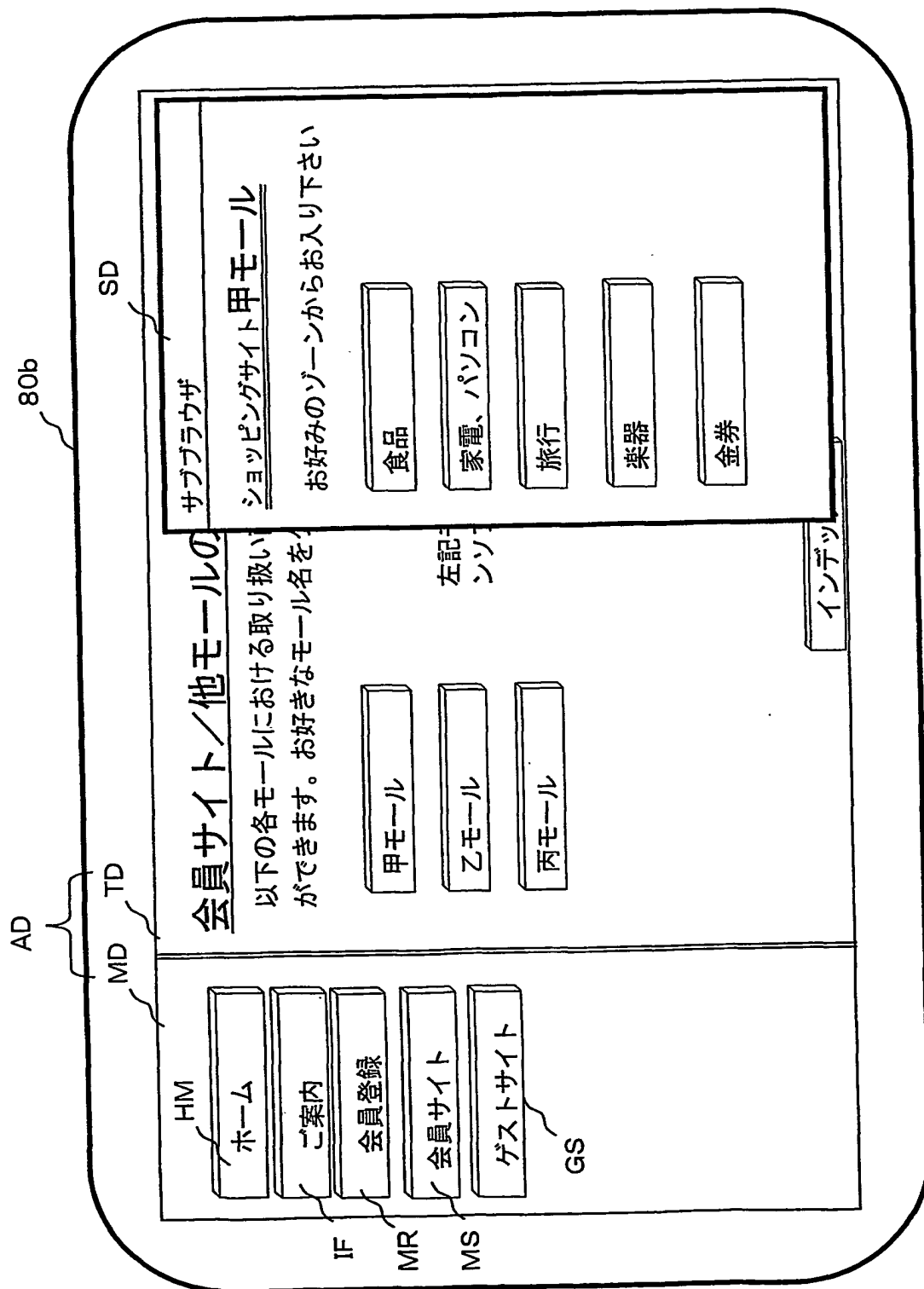


図24

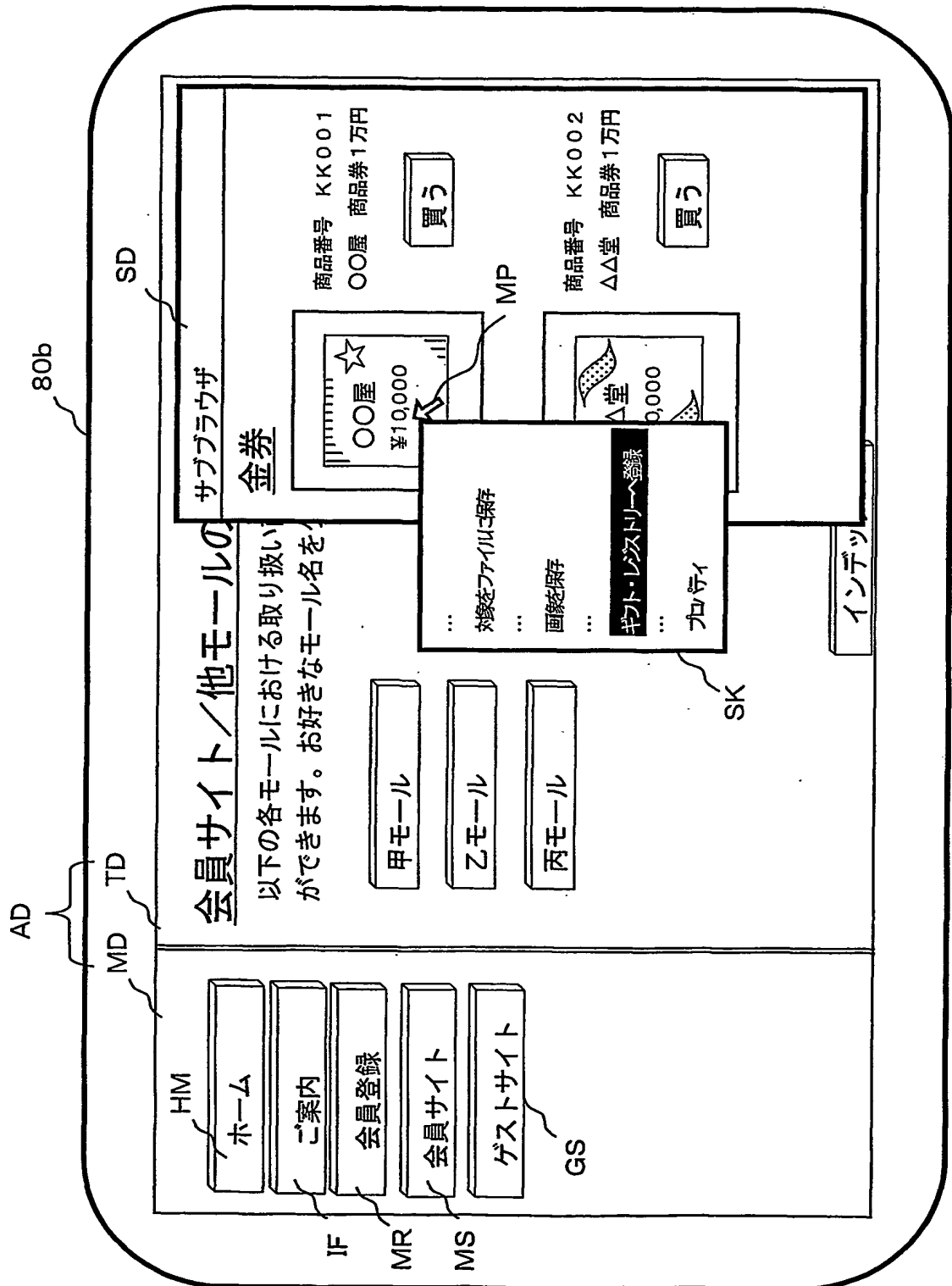


図25

AD

MD TD

RD

SD

登録ブラウザ

あなたが参照しているサイトのURL

http://www.ko-moru.co.jp/kinken/s_001.jpg

あなたがギフト・レジストリーに登録したい品物の品番、品名、価格を、下欄に記入して下さい。

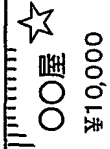
品番	
品名	
価格	

登録

キャンセル


サブブラウザ

金券



商品番号 KK001
〇〇屋 商品券1万円

買う



商品番号 KK002
△△堂 商品券1万円

買う

インデックス

図26

AD

MD

TD

90b

HM

ホーム

ご案内

IF

会員登録

MR

会員サイト

MS

ゲストサイト

GS

贈答品リスト

下記商品が、(受領者1)様、(受領者2)様により選ばれた商品です。あなたがプレゼントとしたい商品を下記商品の中から選び、申込み欄にチェックして下さい。

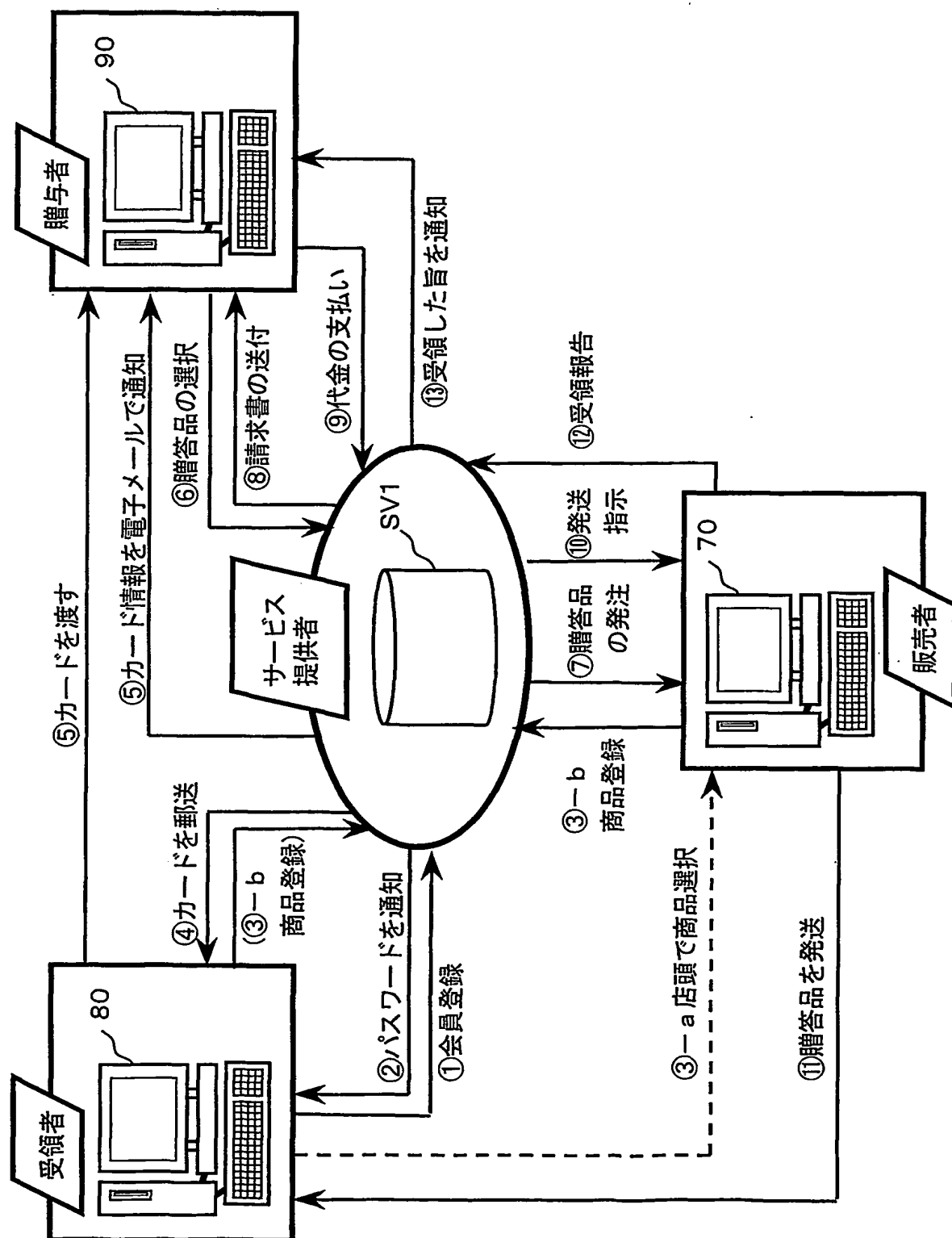
参照URL	受領者	品番	品名	価格	申込み			申込状況
					全額	1/2	1/4	
giftservice.co.jp	1	0003	C社リュック	9000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3/4 済
ko-moru.co.jp	1	KK001	〇〇屋商品券	10000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
giftservice.co.jp	2	0001	A社ハンドバッグ	3500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	済

NEXT

1つ前へ戻る

選択完了

图27



28/31

図28

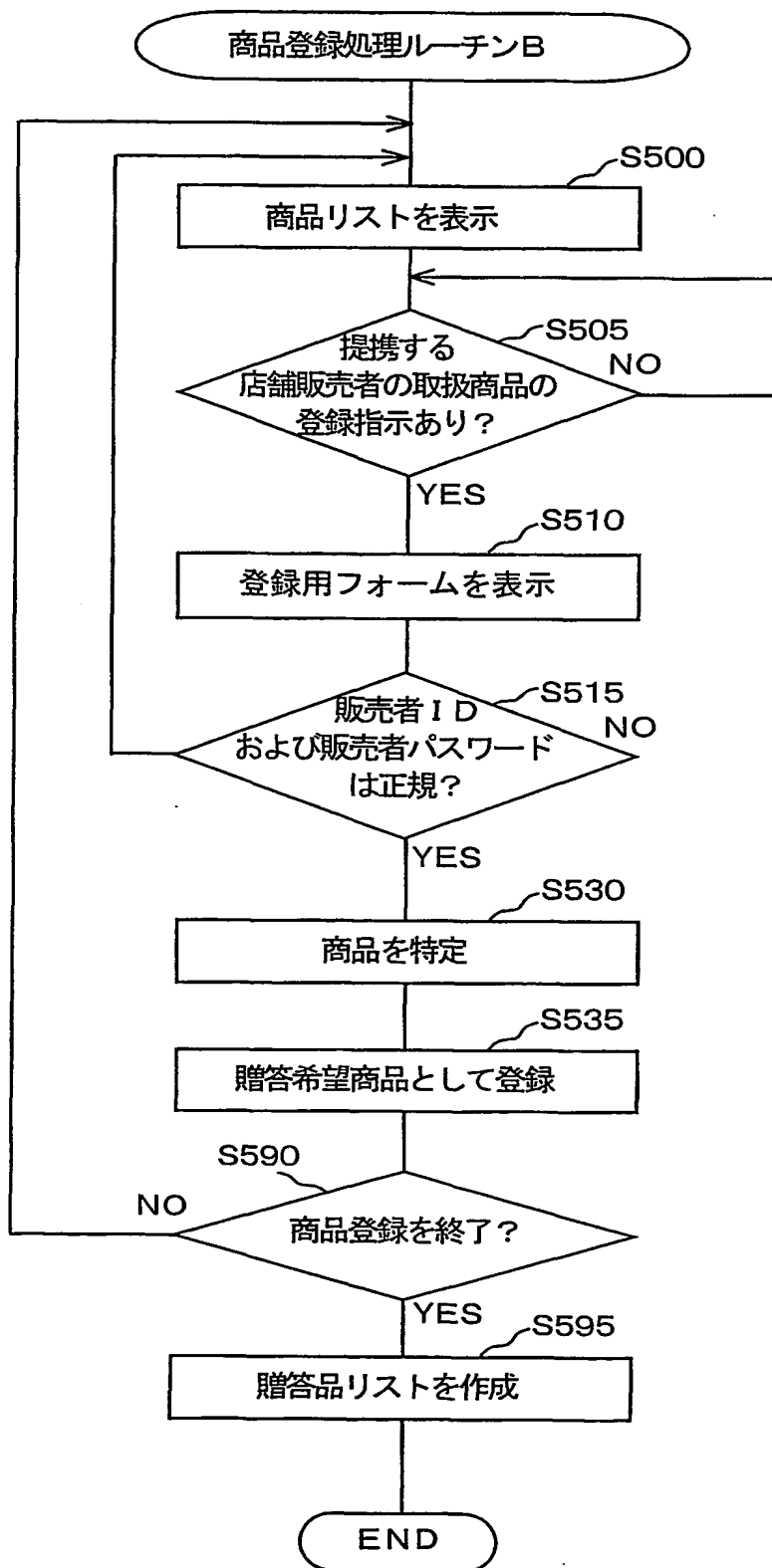


図29

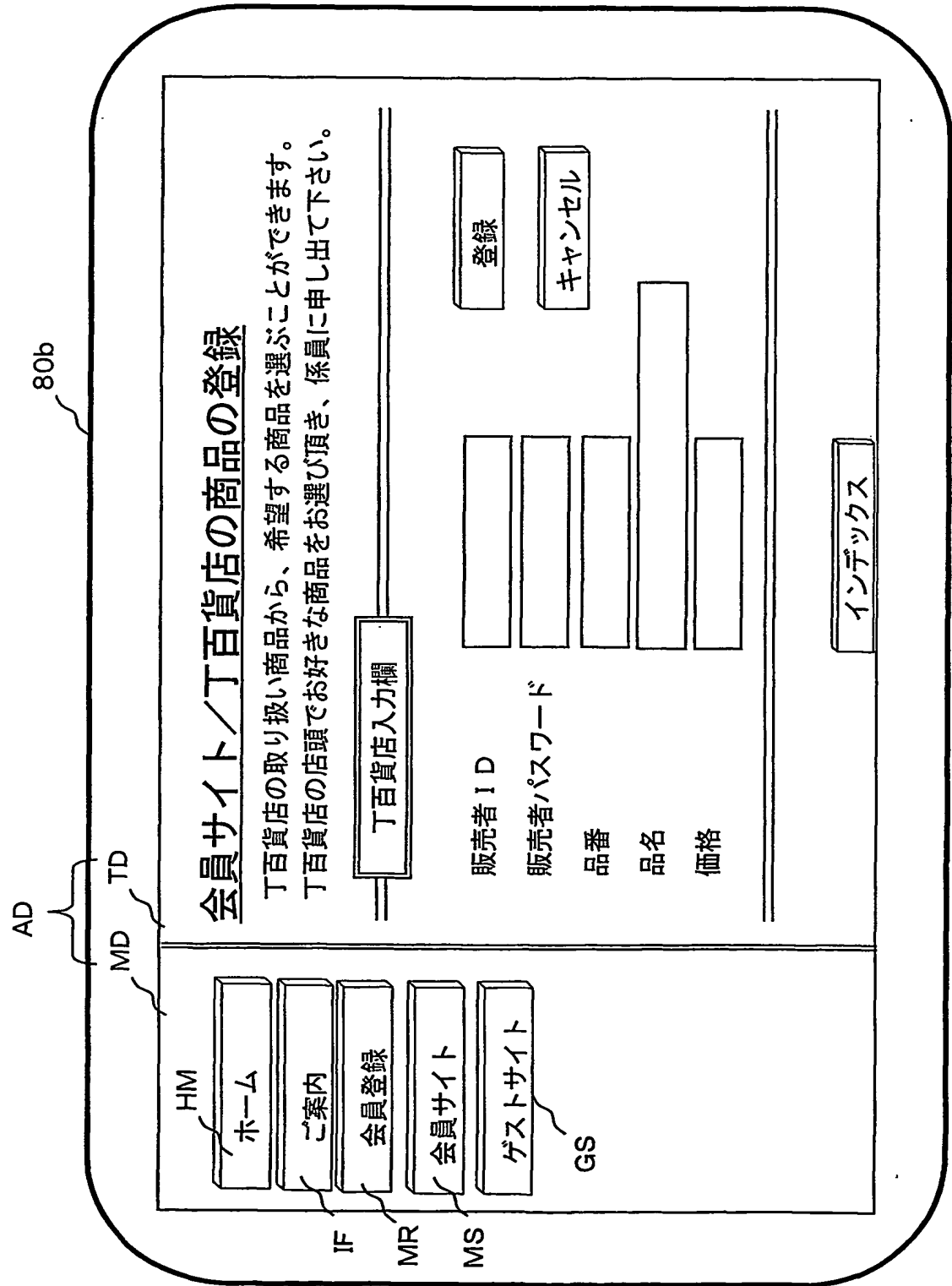


図30

AD

MD

TD

70b

HM

ホーム

ご案内

会員登録

会員サイト

ゲストサイト

IF

MR

MS

会員サイト／丁百貨店の商品の登録

丁百貨店の取り扱い商品から、希望する商品を選ぶことができます。
丁百貨店の店頭でお好きな商品をお選び頂き、係員に申し出て下さい。

丁百貨店入力欄

	登録	キャンセル	
販売者ID	tei		
販売者パスワード	*****		
品番	KY01		
品名	E社 急須セット		
価格	7000		

インデックス

図31

AD

MD

TD

HM

ホーム

ご案内

会員登録

会員サイト

ゲストサイト

GS

IF

MR

MS

贈答品リスト

下記商品が、(受領者 1) 様、(受領者 2) 様により選ばれた商品です。あなたがプレゼントとしたい商品を下記商品の中から選び、申込み欄にチェックして下さい。

参照 URL	受領者	品番	品名	価格	申込み		申込状況
					全額	1/2 1/4	
giftservice .co.jp	1	0003	C社 リュック	9000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3/4 済
店頭	1	KY01	E社 急須セット	7000	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
giftservice .co.jp	2	0001	A社 ハンドバッグ	3500	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	済

NEXT

1つ前へ戻る

選択完了

90b

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP01/00318

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ G06F17/60

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ G06F17/60

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1926-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2001
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2001	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2001

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

Dialindex (DIALOG)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US, 5754981, A (The Gift Certificate Center, Inc.), 19 May, 1998 (19.05.98)	1-25
Y	"Making a list and checking it twice." Link-Up [online], 1999 [retrieved on 06-04-2001]. Retrieved from the Internet: <URL: http://www.findarticles.com/cf_0m3337/6_16/57764608/print.jhtml >.	1-25
Y	JP, 11-175617, A (Recruit Co., Ltd.), 02 July, 1999 (02.07.99) (Family: none)	8-15, 17-24

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
09 April, 2001 (09.04.01)

Date of mailing of the international search report
24 April, 2001 (24.04.01)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ G06F17/60

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
Int. Cl⁷ G06F17/60

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1926-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2001年
日本国実用新案登録公報	1996-2001年
日本国登録実用新案公報	1994-2001年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)
Dialindex (DIALOG)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	US, 5754981, A (The Gift Certificate Center, Inc.) 19. 5月. 1998 (19. 05. 98)	1-25
Y	'Making a list and checking it twice'. Link-Up [online], 1999 [retrieved on 2001-04-06]. Retrieved from the Internet: <URL: http://www.findarticles.com/cf_0/m3337/6_16/57764608/ print.jhtml>.	1-25
Y	JP, 11-175617, A (株式会社リクルート) 2. 7月. 1999 (02. 07. 99) (ファミリーなし)	8-15, 17-24

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
09. 04. 01

国際調査報告の発送日
24. 04. 01

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号 100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
岩間 直純



5L 9287

電話番号 03-3581-1101 内線 3561